

教育庁関連情報一覧（令和4年9月1日～令和4年9月30日）

第104回全国高等学校野球選手権大会優勝報告のため選手及び関係者が知事を表敬訪問しました。（担当課：保健体育安全課）

第104回全国高等学校野球選手権大会に宮城県代表として出場し、東北勢初の優勝を成し遂げた「仙台育英学園高等学校硬式野球部」の選手及び関係者が、その報告のため県を表敬訪問しました。

また、その功績を称え、宮城県及び県議会議長より特別表彰を授与しました。

【概要】

- 期 日 令和4年9月5日（月）
午後3時30分から午後4時まで
- 場 所 宮城県行政庁舎4階 庁議室

< 大会概要 >

開催日：令和4年8月6日（土）～8月22日（月）
開催地：兵庫県西宮市
出場数：49チーム



令和4年度全国高等学校総合体育大会及び全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会の優勝報告のため各競技の選手及び関係者が副知事を表敬訪問しました。（担当課：保健体育安全課）

令和4年度全国高等学校総合体育大会及び全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会に宮城県代表として出場した選手のうち、優勝した各競技の選手及び関係者が、その報告のため県を表敬訪問しました。

【概要】

- 期 日 令和4年9月12日（月）午後4時から午後4時15分まで
- 場 所 宮城県行政庁舎4階 庁議室

< 大会概要 >

【令和4年度全国高等学校総合体育大会】

開催日：令和4年7月23日（土）～8月23日（火） 開催地：徳島県，香川県，愛媛県，高知県

【令和4年度全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会】

開催日：令和4年7月28日（木）～7月31日（日） 開催地：広島県

< 優勝者 >

- ・利府高等学校 3年 齊藤 大空（陸上競技男子3000m障害）
- ・仙台育英学園高等学校 2年 壁谷 衿奈（陸上競技女子800m）
- ・気仙沼高等学校 2年 臼井 康晴（フェンシング男子エペ）
- ・石巻高等学校 3年 高橋 興生・武山 慎（ボート男子ダブルスカル）
- ・仙台育英学園高等学校 ライフル射撃部（エアライフル立射競技女子）



令和5年度（令和4年度実施）宮城県公立学校教員採用候補者選考の実施概要

1 実施概況

（1）第1次選考

- 実施日 令和4年7月23日（土）
- 会場 筆記試験は高校3校，東京大学駒場Iキャンパス

（2）第2次選考

- 実施日 令和4年9月7日（水）～9日（金），14日（水）～16日（金）
実技試験は9月17日（土）
- 会場 宮城県総合教育センター，名取北高等学校（17日のみ）

	出願者数	1次免除者数	1次受験者数（受験率）	1次合格者数	2次受験者数（受験率）
R5年度	1,648	174	1,337 (90.7%)	839	957 (94.5%)
R4年度	1,748	190	1,453 (93.3%)	895	1,038 (95.7%)
対前年比	-100	-16	-116 (-2.6pt)	-56	-81 (-1.2pt)

2 今年度選考試験の特徴

- 新型コロナウイルス感染症対策として，受験者に体調管理チェックシートの提出を求め，入場時の検温，消毒用アルコールの設置，変更情報等のWeb配信を行った。第1次選考では各会場定員50%以下での受験者の座席を配置し，第2次選考では集団討議・面接時に飛沫防止パネルを設置して，安心して受験できる環境づくりを行った。
- 第1次選考で基礎的な能力実証を行った上で，第2次選考において，宮城県が求める教師像に基づき，人物重視の選考を行った。
- 今年度の変更・改善点
 - ・他県現職者特別選考の要件を拡大
 - ・加点措置の拡大
 - ① 小学校特別支援学校卒の出願者のうち，幼稚園教諭普通免許状の取得者
 - ② 小学校の出願者のうち，中学校教諭普通免許状の取得者
 - ③ 中学校または中・高の出願者のうち，小学校教諭普通免許状の取得者
 - ④ 中学校または中・高の出願者のうち，他の教科の中学校普通免許状の取得者
 - ・適性検査の内容を充実
- 他県現職者特別選考，宮城県元職特別選考，前年度総合ランク「C」の出願者には，第1次選考を免除した。
- 名簿登載者数は574名（昨年度540名）。名簿登載者数に占める各特別選考の割合は，教職経験者特別選考14.6%（昨年度20.9%），障害者特別選考0.2%，他県現職者特別選考が8.0%，宮城県元職特別選考が0.5%，前年度総合ランク「C」が12.2%である。また名簿登載者の男女比は男49.8%，女50.2%である。
- 大学院進学・在籍者の名簿登載猶予予定者は27名（昨年度18名）である。

3 今後の取組

- **宮城県の教職員を目指す方の一助となる情報をホームページで発信（広報活動）**
教員採用に関する動画等を掲載したサイトを作成しHPより定期的に配信。
詳細は教職員課ホームページより。
- **令和5年4月の新規採用予定者に対し，情報交換会を開催予定。**
期日・会場：令和4年12月27日（火）・宮城県総合教育センター
内容：全体会（講話），分科会（校種別情報交換会）他

令和5年度宮城県公立学校教員採用候補者選考 第2次選考結果

校種・職種	教科等	令和5年度			令和4年度		
		1次受験者及び 1次免除者	2次受験者	名簿登載者	1次受験者及び 1次免除者	2次受験者	名簿登載者
小学校	地域枠（気仙沼）	12	12	4	17	17	4
	地域枠（東部）	9	9	5	27	26	6
	地域枠（北部）	19	18	5	20	20	6
	特別支援学校枠	53	51	11	52	49	11
	英語枠	15	14	10	19	18	9
	一般枠	280	267	237	323	310	235
	小計	388	371	272	458	440	271
中学校	国語	26	23	20	37	31	20
	社会	125	35	23	127	42	23
	数学	46	39	28	65	34	17
	理科	30	26	20	38	35	26
	技術	2	2	1	9	7	5
	英語	59	44	18	50	44	20
	小計	288	169	110	326	193	111
中・高	保体	238	72	42	245	77	36
	音楽	27	25	17	32	21	8
	美術	27	20	9	30	22	9
	家庭	11	9	7	17	16	12
	小計	303	126	75	324	136	65
高校	国語	45	27	11	42	36	22
	公民	29	15	9	32	11	1
	地歴	54	29	7	67	31	7
	数学	69	18	8	72	19	10
	理科	65	53	20	70	41	13
	農業	10	9	6	8	7	2
	水産	4	4	1	1	1	0
	工業	26	24	14	23	17	5
	商業	21	20	7	23	12	4
	情報	16	14	6	12	9	2
	英語	40	33	15	34	30	14
	看護	2	2	2	募集せず		
	理療	0			募集せず		
	福祉	募集せず			7	6	1
小計	381	248	106	391	220	81	
養護教諭		129	32	9	124	37	7
栄養教諭	栄養教諭A	1	1	1	1	1	1
	栄養教諭B	21	10	1	19	11	4
	小計	22	11	2	20	12	5
合 計		1,511	957	574	1,643	1,038	540

令和5年3月高等学校卒業予定者就職内定状況（9月末現在）

	R4.3月末	R4.7月末	R4.8月末	R4.9月末	前年同月	増減 (当月－前年同月)
内 定 率	99.2%	—	—	51.0%	50.8%	0.2
男 子	99.2%	—	—	54.2%	53.2%	1.0
女 子	99.1%	—	—	46.4%	47.3%	-0.9
全 国 平 均	97.9%	—	—	—	—	

【内訳】

卒 業 者	18,565	18,001	17,988	17,971	18,665	-694	
進 学 希 望 者	14,648	14,298	14,307	14,306	14,609	-303	
臨時的仕事希望者	220	43	54	85	54	31	
進 路 未 定 者	46	155	117	85	137	-52	
就 職 希 望 者	3,651	3,505	3,510	3,495	3,865	-370	
内 訳	県 内	2,962	3,124	3,042	2,938	3,265	-327
	県 外	689	381	468	557	600	-43
	職安・学校紹介	3,117	2,919	2,884	2,856	3,166	-310
	縁 故 ・ 自 営	174	76	104	109	121	-12
	公 務 員	360	510	522	530	578	-48
就 職 内 定 者	3,621	—	—	1,782	1,963	—	
内 訳	県 内	2,932	—	—	1,420	1,589	—
	県 外	689	—	—	362	374	—
	職安・学校紹介	3,093	—	—	1,752	1,928	—
	縁 故 ・ 自 営	171	—	—	29	34	—
	公 務 員	357	—	—	1	1	—
就 職 未 内 定 者	30	—	—	1,713	1,902	—	
月 間 受 験 者 数	32	—	—	2,891	3,339	—	

【概況】※()内は前年同月

- ① 就職内定率 : 51.0% (50.8%)
- ② 進路希望の割合状況 : 進学 79.6% (78.3%) 就職 19.4% (20.7%)
臨時的仕事 0.5% (0.3%) 未定 0.5% (0.7%)
- ③ 就職希望者の割合 : 県内 84.1% (84.5%) 県外 15.9% (15.5%)
- ④ 県内外の内定率 : 県内 48.3% (48.7%) 県外 65.0% (62.3%)
- ⑤ 内定者の割合 : 県内 79.7% (80.9%) 県外 20.3% (19.1%)
- ⑥ 学科別内定率

学科別内定率	普通科	農業科	工業科	商業科	水産科	家庭科	福祉科	その他	総合学科
令和4年度	38.5%	57.7%	73.1%	49.1%	38.9%	46.6%	60.0%	17.5%	50.3%
令和3年度	37.4%	47.9%	67.9%	60.1%	59.5%	40.3%	26.7%	28.1%	55.0%

⑦地域別内定状況

地域別内定率	仙台	大和	石巻	塩釜	古川	大河原	白石	築館	迫	気仙沼
令和4年度	45.3%	61.8%	51.0%	36.9%	61.5%	52.5%	71.2%	41.9%	54.3%	47.4%
令和3年度	44.8%	46.9%	52.4%	47.9%	53.5%	54.0%	77.6%	53.0%	48.5%	54.9%

⑧宮城労働局発表 県内求人倍率（8月末現在）（職安学校紹介のみ、ただし特別支援学校・通信制含む）

	29年3月卒	30年3月卒	31年3月卒	2年3月卒	3年3月卒	4年3月卒	5年3月卒
県内求人数	8,985	9,944	10,624	10,803	8,802	8,891	9,386
県内求職者数	3,463	3,312	3,287	3,230	3,060	2,827	2,496
求人倍率	2.59	3.00	3.23	3.34	2.88	3.15	3.76

令和５年度

宮城県立高等学校入学者選抜方針
仙台市立高等学校入学者選抜方針
石巻市立高等学校入学者選抜方針
宮城県公立高等学校入学者選抜要項

出願書類

出願希望調査までの流れ

入試のフロー図

地区処理委員会

各種様式一覧

県境隣接地域県立高等学校入学志願取扱いについて

県立高等学校の通学区域に関する規則（抄）

仙台市立高等学校の通学区域に関する規則（抄）

石巻市立高等学校の通学区域に関する規則（抄）

東日本大震災の被災に伴う区域外就学者の受験に係る措置

宮城県教育委員会

仙台市教育委員会

石巻市教育委員会

入 学 者 選 抜 事 務 日 程

事 項	参 照 ペー ジ	期 日	報 告 者 又 は 送 付 者	経 由 (宛 先)	最 終 報 告 先 又 は 送 付 先	備 考	
募 集 定 員	4	5月20日(金)				県教委, 関係市教委	
入学者選抜一覧公表(実施方法等)		5月20日(金)				県教委, 関係市教委	
願 書 等 用 紙 配 布		10月上旬	県 教 育 長		教育事務所長等		
出願希望調査	集 計 表 の 提 出	6	1月11日(水)から 1月13日(金) 午後3時まで	中 学 校 長	仙台市立中学校に あつては仙台市教 育委員会教育長	県 教 育 長 高 校 教 育 課 長	電 子 メ ー ル
	結 果 の 通 知 ・ 公 表	6	1月18日(水)	県 教 育 長			
第 一 次 募 集 選 抜 連 携 型 選 抜 全 国 募 集 選 抜 (上 段) 社 会 人 特 別 選 抜 (下 段)	出 願 受 付	9, 19, 29 22	2月14日(火)から 2月17日(金) 午前11時まで	中 学 校 長 又 は 所 属 長 等		高 等 学 校 長	
	出 願 書 類 受 領 書 ※ 社 会 人 特 別 選 抜 の み	22	2月14日(火)から 2月17日(金)	高 等 学 校 長		所 属 長 等	郵 送 で 受 領 し た 場 合 は, 後 日 郵 送
	出 願 者 数 等 報 告	9, 19, 29 22	2月17日(金) 出願締切後直ちに	高 等 学 校 長	市立高等学校に あつては所属教 育委員会教育長	県 教 育 長	電 子 メ ー ル
	特 例 措 置 に よ る 出 願 受 付 等	13	2月20日(月)から 3月2日(木) 申請受付: 午前11時まで 出願受付: 正午まで			高 等 学 校 長	
	学 力 検 査 及 び 面 接 等	9, 10, 19, 30 23	3月6日(月) 3月7日(火)				高 等 学 校
	追 試 験	10	3月13日(月)				高 等 学 校
	結 果 通 知	12, 20, 30 23	3月16日(木) 午後3時頃	高 等 学 校 長		中 学 校 長 又 は 所 属 長 等	郵 送
	合 格 者 の 発 表	12, 20, 30 23	3月16日(木) 午後3時				高 等 学 校
	合 格 者 数 等 報 告	12, 20, 30 23	3月16日(木) 正午まで	高 等 学 校 長	市立高等学校に あつては所属教 育委員会教育長	県 教 育 長	電 子 メ ー ル
	出 願 者 数 及 び 合 格 者 数 学 力 検 査 成 績 等 の 報 告	13, 20, 30 23	3月24日(金)まで	高 等 学 校 長		県 教 育 長 ◎	(親 展 文 書)
県 外 か ら の 出 願 承 認 申 請 受 付 (全 国 募 集 選 抜 を 含 む)	24, 27	12月13日(火)から 2月16日(木) 午前11時まで			高 等 学 校 長	特 例 措 置 に よ る 出 願 承 認 は 3 月 2 日 (木) ま で	
県 外 か ら の 公 立 高 等 学 校 出 願 承 認 報 告	25, 26, 28	3月3日(金)まで	高 等 学 校 長	市立高等学校に あつては所属教 育委員会教育長	県 教 育 長	電 子 メ ー ル	
第 二 次 募 集	実 施 予 定 の 報 告 (第 一 次 募 集 出 願 締 切 後)	14	2月17日(金) 午前11時	高 等 学 校 長	市立高等学校に あつては所属教 育委員会教育長	県 教 育 長	電 子 メ ー ル ※ 3 月 16 日 (木) に 再 度 報 告
	実 施 予 定 の 報 告 (第 一 次 募 集 合 格 発 表 日)	14	3月16日(木) 正午まで	高 等 学 校 長	市立高等学校に あつては所属教 育委員会教育長	県 教 育 長	電 子 メ ー ル
	出 願 受 付	16	3月17日(金)から 3月22日(水) 午後3時まで	中 学 校 長		高 等 学 校 長	
	出 願 者 数 等 報 告	17	3月22日(水) 出願締切後直ちに	高 等 学 校 長	市立高等学校に あつては所属教 育委員会教育長	県 教 育 長	電 子 メ ー ル
	学 力 検 査 等	17	3月23日(木)				高 等 学 校
	合 格 者 の 発 表	17	3月23日(木)又は 3月24日(金)				高 等 学 校
	結 果 の 報 告	17	合格者の発表後 直ちに	高 等 学 校 長	市立高等学校に あつては所属教 育委員会教育長	県 教 育 長	電 子 メ ー ル
通 信 制 課 程 一 期 入 学 者 選 抜 出 願 受 付	32	3月13日(月)から 3月20日(月) 午前11時まで			高 等 学 校 長		
通 信 制 課 程 一 期 入 学 者 選 抜 結 果 通 知 送 付	32	3月27日(月)	高 等 学 校 長		受 験 生 本 人	郵 送	
通 信 制 課 程 二 期 入 学 者 選 抜 出 願 受 付	34	令和5年 9月4日(月)から 9月8日(金) 午前11時まで			高 等 学 校 長		
通 信 制 課 程 二 期 入 学 者 選 抜 結 果 通 知 送 付	34	9月15日(金)	高 等 学 校 長		受 験 生 本 人	郵 送	

(備考) 市立高等学校にあつては、◎は所属教育委員会教育長にも報告する。

上記のうち宮城県教育委員会教育長、仙台市教育委員会教育長、石巻市教育委員会教育長宛てに提出又は報告を要する文書は、それぞれ以下において受け付ける。

宮城県教育庁高校教育課 〒980-8423 仙台市青葉区本町三丁目8-1
(電話) (022) 211-3649・3624 (教育指導第二班) (FAX) (022) 211-3696

仙台市教育局学校教育部高校教育課 〒980-0011 仙台市青葉区上杉一丁目5番12号 上杉分庁舎
(電話) (022) 214-8422 (FAX) (022) 264-4437

石巻市教育委員会学校教育課 〒986-8501 石巻市穀町14-1
(電話) (0225) 95-1111 (代表) (FAX) (0225) 22-5160

目 次

ページ

◆ 令和5年度宮城県立高等学校入学者選抜方針	1
◆ 令和5年度仙台市立高等学校入学者選抜方針	2
◆ 令和5年度石巻市立高等学校入学者選抜方針	3
◆ 令和5年度宮城県公立高等学校入学者選抜要項	4
I 募集及び出願	
1 募集定員	4
2 出願資格	
3 出願制限	
II 出願希望調査	
1 手続	6
2 結果の通知・公表	
III 第一次募集（全日制・定時制課程）	
1 第一次募集の実施	7
2 出願資格	
3 出願制限	
4 出願手続	8
5 県外からの出願	9
6 出願期間	
7 出願者数等の報告	
8 学力検査	
9 面接, 実技, 作文	10
10 追試験	
11 選抜	11
12 合格者の発表	12
13 合格者数等の報告	
14 第一次募集出願の特例措置	13
15 合格者の取扱い	
IV 第二次募集（全日制・定時制課程）	
1 第二次募集の実施	14
2 実施予定の報告	
3 出願資格	
4 出願制限	15
5 出願手続	
6 県外からの出願	16
7 出願期間	17
8 出願者数等の報告	
9 学力検査等	
10 選抜	
11 合格者の発表	
12 合格者数等の報告	
V 連携型選抜	
1 連携型選抜の実施	18
2 出願資格	

3	出願制限	
4	出願手続	
5	出願期間	19
6	出願者数等の報告	
7	検査内容	
8	選抜	
9	合格者の発表	20
10	合格者数等の報告	
11	合格者の取扱い	
VI	社会人特別選抜（定時制課程）	
1	社会人特別選抜の実施	21
2	出願資格	
3	出願制限	
4	出願手続	
5	出願期間	22
6	出願者数等の報告	
7	受験票等の送付	23
8	学力検査及び面接等	
9	選抜	
10	合格者の発表	
11	合格者数等の報告	
12	合格者の取扱い	
VII	県外からの出願（全日制・定時制課程）	
1	出願承認の申請	24
2	出願承認の申請手続	
3	出願手続	25
4	県外からの出願の特例措置	26
VIII	全国募集選抜	
1	全国募集選抜の実施	27
2	出願資格	
3	出願手続	
4	出願承認の申請	
5	出願承認の申請手続	
6	出願手続	28
7	出願期間	29
8	出願数等の報告	
9	学力検査及び面接	30
10	選抜	
11	合格者の発表	
12	合格者数等の報告	
IX	通信制課程	
第1	通信制課程の入学選抜の実施	31
第2	一期入学選抜（令和5年春募集）	
1	募集人数	

2	出願資格	
3	出願制限	
4	出願手続	
5	出願期間	32
6	面接	
7	選抜	
8	結果の通知	33
9	その他	
第3	二期入学者選抜（令和5年秋募集）	
1	募集人数	
2	出願資格	
3	出願手続	
4	出願期間	34
5	面接	
6	選抜	
7	結果の通知	
8	その他	

X その他

1	学力検査及び面接等の実施上、配慮を要する者の取扱い	35
2	進路指導と助言	
3	特別な事情を有する生徒の副申書に関する取扱い	
4	不正行為の扱い	
5	合格した生徒の生徒指導要録抄本等の送付	36
6	入学者選抜に係る検査の得点の開示	
7	海外帰国者等の取扱いに関する留意事項	
◆	出願書類	37
◆	出願希望調査の流れ	38
◆	第一次募集の流れ	39
◆	連携型選抜の流れ	40
◆	県外からの出願の流れ	41
◆	特例措置の流れ（第一次募集）	
◆	全国募集選抜の出願の流れ	42
◆	第二次募集の流れ	43
◆	地区処理委員会	44
◆	各種様式一覧	45
◆	県境隣接地域県立高等学校入学志願取扱いについて	70
◆	県立高等学校の通学区域に関する規則（抄）	72
◆	仙台市立高等学校の通学区域に関する規則（抄）	
◆	石巻市立高等学校の通学区域に関する規則（抄）	73
◆	東日本大震災の被災に伴う区域外就学者の受験に係る措置	74
◆	宮城県公立高等学校出願書類送付先一覧	77

令和5年度宮城県立高等学校入学選抜方針

宮城県立高等学校における入学選抜は、高等学校及び中学校における教育の目的の実現及び健全な教育の推進を期し、公正かつ適正な選抜方法と選抜尺度により厳正に行うものとする。

1 基本原則

- (1) 各宮城県立高等学校長（以下「高等学校長」という。）は、その教育を受けるに足る多様な能力と適性等を積極的に評価し、選抜するものとする。
- (2) 出願事務及び選抜事務の厳正を期するため、中学校にあつては調査書等作成のための委員会を、宮城県立高等学校（以下「高等学校」という。）にあつては選抜のための委員会を設置するものとする。

2 第一次募集

- (1) すべての高等学校は、学校・学科の特色に応じて、第一次募集を実施する。選抜に当たって、高等学校長は、原則として、調査書、学力検査の結果及び必要に応じて実施する面接、実技（体育及び美術に関する学科の場合）、作文の検査結果に基づいて共通選抜と特色選抜の2通りの方法により選抜するものとする。
- (2) 学力検査
 - イ 学力検査の実施教科は、国語、社会、数学、理科及び英語とする。
 - ロ 学力検査の内容は、中学校学習指導要領の趣旨を踏まえ、基礎的・基本的なものを重視するとともに、生徒の多様な能力・適性等が評価できる適切な質と分量の問題になるよう配慮するものとする。

3 追試験

すべての高等学校は、第一次募集検査日当日に、やむを得ない事由により受験できなかった者を対象に、追試験を実施する。

この場合、学力検査、面接、実技（体育及び美術に関する学科の場合）及び作文並びに選抜方法等については、第一次募集に準ずる。

4 第二次募集

合格者数が、募集定員に満たない場合においては、第二次募集を行うものとする。選抜に当たって、高等学校長は、調査書のみの審査、あるいは調査書に、第二次募集の学力検査、面接、実技（体育及び美術に関する学科の場合）及び作文のいずれか一つ又は複数の結果を合わせた審査を行うことができる。

5 連携型中高一貫教育に関する選抜

連携型中高一貫教育を実施する高等学校は、連携型中高一貫教育を実施する中学校の卒業生を対象とした選抜を実施する。選抜に当たって、当該高等学校長は、原則として、調査書、その他必要な書類、学力検査（第一次募集に準ずる。）及び面接等の結果に基づいて総合的に審査するものとする。

6 社会人特別選抜

定時制課程の学科を有する高等学校においては、第一次募集において社会人を対象とした選抜を行うことができる。当該高等学校長は、学力検査について、弾力的に対応することができるものとする。

7 通信制課程に関する選抜

当該高等学校長は上記によらず、選抜を行うことができるものとする。

令和5年度仙台市立高等学校入学者選抜方針

仙台市立高等学校における入学者選抜は、高等学校及び中学校における教育の目的の実現及び健全な教育の推進を期し、公正かつ適正な選抜方法と選抜尺度により厳正に行うものとする。

1 基本原則

- (1) 各仙台市立高等学校長（以下「高等学校長」という。）は、その教育を受けるに足る多様な能力と適性等を積極的に評価し、選抜するものとする。
- (2) 出願事務及び選抜事務の厳正を期するため、中学校にあつては調査書等作成のための委員会を、仙台市立高等学校（以下「高等学校」という。）にあつては選抜のための委員会を設置するものとする。

2 第一次募集

- (1) すべての高等学校は、学校・学科の特色に応じて、第一次募集を実施する。選抜に当たって、高等学校長は、原則として、調査書、学力検査の結果及び必要に応じて実施する面接、作文の検査結果に基づいて共通選抜と特色選抜の2通りの方法により選抜するものとする。
- (2) 学力検査
 - ア 学力検査の実施教科は、国語、社会、数学、理科及び英語とする。
 - イ 学力検査の内容は、中学校学習指導要領の趣旨を踏まえ、基礎的・基本的なものを重視するとともに、生徒の多様な能力・適性等が評価できる適切な質と分量の問題になるよう配慮するものとする。

3 追試験

すべての高等学校は、第一次募集検査日当日に、やむを得ない事由により受験できなかった者を対象に、追試験を実施する。

この場合、学力検査、面接及び作文並びに選抜方法等については、第一次募集に準ずる。

4 第二次募集

合格者数が、募集定員に満たない場合においては、第二次募集を行うものとする。選抜に当たって、高等学校長は、調査書のみの審査、あるいは調査書に、第二次募集の学力検査、面接及び作文のいずれか一つ又は複数の結果を合わせた審査を行うことができる。

5 社会人特別選抜

定時制課程の学科を有する高等学校においては、第一次募集において社会人を対象とした選抜を行うことができる。当該高等学校長は、学力検査について、弾力的に対応することができるものとする。

令和5年度石巻市立高等学校入学者選抜方針

石巻市立高等学校における入学者選抜は、高等学校及び中学校における教育の目的の実現及び健全な教育の推進を期し、公正かつ適正な選抜方法と選抜尺度により厳正に行うものとする。

1 基本原則

- (1) 石巻市立高等学校長（以下「高等学校長」という。）は、その教育を受けるに足る多様な能力と適性等を積極的に評価し、選抜するものとする。
- (2) 出願事務及び選抜事務の厳正を期するため、中学校にあつては調査書等作成のための委員会を、石巻市立高等学校（以下「高等学校」という。）にあつては選抜のための委員会を設置するものとする。

2 第一次募集

- (1) 高等学校は、学校・学科の特色に応じて、第一次募集を実施する。選抜に当たって、高等学校長は、原則として、調査書、学力検査の結果及び必要に応じて実施する面接、作文の検査結果に基づいて共通選抜と特色選抜の2通りの方法により選抜するものとする。
- (2) 学力検査
 - ア 学力検査の実施教科は、国語、社会、数学、理科及び英語とする。
 - イ 学力検査の内容は、中学校学習指導要領の趣旨を踏まえ、基礎的・基本的なものを重視するとともに、生徒の多様な能力・適性等が評価できる適切な質と分量の問題になるよう配慮するものとする。

3 追試験

高等学校は、第一次募集検査当日に、やむを得ない事由により受験できなかった者を対象に、追試験を実施する。

この場合、学力検査、面接及び作文並びに選抜方法等については、第一次募集に準ずる。

4 第二次募集

合格者数が、募集定員に満たない場合においては、第二次募集を行うものとする。選抜に当たって、高等学校長は、調査書のみの審査、あるいは調査書に、第二次募集の学力検査、面接及び作文のいずれか一つ又は複数の結果を合わせた審査を行うことができる。

令和5年度宮城県公立高等学校入学者選抜要項

この要項では、全日制課程及び定時制課程における第一次募集及び第二次募集並びに連携型中高一貫教育を実施する高等学校における連携型中高一貫教育に関する選抜（以下「連携型選抜」という。）、全国募集選抜、定時制課程における社会人特別選抜及び通信制課程における選抜について定める。

なお、東日本大震災の被災に伴う区域外就学者の受験に係る措置については、別に定める。（74頁参照）

おって、新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴う留意事項は、必要に応じて別に定める。

I 募集及び出願

1 募集定員

- (1) 県立高等学校の募集定員は、県教育委員会が別に公示する。
- (2) 市立高等学校の募集定員は、当該高等学校を設置する市の教育委員会が別に公示する。

2 出願資格

県内の公立高等学校の入学者選抜に出願できる者は、次の(1)～(4)のいずれかに該当する者で、原則として出願時点で高等学校、中等教育学校の後期課程、高等専門学校、特別支援学校高等部及び高等学園のいずれにも在学していない者とする。また、併設型中高一貫教育を実施する中学校（以下「併設型中学校」という。）から併設型中高一貫教育を実施する当該高等学校（以下「当該併設型高等学校」という。）への入学予定者及び中等教育学校の前期課程から後期課程への進級予定者を除く。

- (1) 中学校又はこれに準ずる学校を卒業又は令和5年3月卒業見込みの者
- (2) 義務教育学校を卒業又は令和5年3月卒業見込みの者
- (3) 中等教育学校の前期課程を修了又は令和5年3月修了見込みの者
- (4) 学校教育法施行規則第95条の規定により、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

なお、中学校、これに準ずる学校、義務教育学校及び中等教育学校の前期課程を、以下「中学校」という。

3 出願制限

- (1) 県内の公立高等学校の入学者選抜において出願できる高等学校は、県立高等学校の通学区域に関する規則（昭和31年宮城県教育委員会規則第17号。以下「県通学区域規則」という。）、仙台市立高等学校の通学区域に関する規則（平成12年仙台市教育委員会規則第4号。以下「仙台

市通学区域規則」という。)及び石巻市立高等学校の通学区域に関する規則(平成17年石巻市教育委員会規則第15号。以下「石巻市通学区域規則」という。)に定める区域内の高等学校に限る。

ただし、県境隣接地域県立高等学校入学志願取扱協定(以下「県境隣接協定」という。)に定める区域内に居住する者は、その定めによる。

(2) 全国募集選抜において出願できる高等学校は、宮城県中新田高等学校及び宮城県南三陸高等学校に限る。出願できる者は別に定める出願資格を満たす者とする。

(3) 出願できる課程及び学科・コース・部は、一つに限る。

イ 農業、工業、商業又は水産に関する学科等においては、類似学科の一括募集を実施することができるものとし、この場合には、一括された二つ以上の学科を一つの学科として扱う。

一括募集を実施する高等学校にあつては、その旨を所属教育委員会教育長に申請し、承認を受ける。

ロ 次の多部制をとる高等学校においては、それぞれ次表のように取扱う。

高等学校	取 扱 い
貞山高等学校	昼間部、夜間部をそれぞれ一つの学科として扱う。
東松島高等学校	昼間部(午前部)、昼間部(午後部)、夜間部をそれぞれ一つの学科として扱う。以下、昼間部(午前部)、昼間部(午後部)、夜間部はそれぞれ「Ⅰ部」、「Ⅱ部」、「Ⅲ部」という。
田尻さくら高等学校	午前部、午後夕間部をそれぞれ一つの学科として扱う。以下、午前部、午後夕間部はそれぞれ「Ⅰ部」、「Ⅱ部」という。
仙台大志高等学校	Ⅰ部(午前午後)、Ⅱ部(午後夜間)をそれぞれ一つの学科として扱う。

Ⅱ 出願希望調査

中学校の校長（以下「中学校長」という。）は、県内公立高等学校への入学を志願する在籍生徒及び過年度卒業生について、志願する高等学校ごとに第1希望生徒数を調査し報告する。

1 手続

- (1) 中学校長は、出願希望調査集計表（様式A）を作成し、県教育庁高校教育課長（仙台市立中学校にあっては仙台市教育委員会教育長）に電子メールで報告する。
- (2) 志願できる高等学校は、一人1校とし、課程及び学科・コースについては一つに限る。

2 結果の通知・公表

県教育長は、出願希望調査結果を公立高等学校長、中学校長、市町村教育委員会教育長及び教育事務所長等に通知するとともに、公立高等学校ごとの志願者数等を公表する。

	出願希望調査
提出書類	様式A
提出の期間	1月11日（水）から 1月13日（金）午後3時まで
結果の通知・公表	1月18日（水）

Ⅲ 第一次募集（全日制・定時制課程）

1 第一次募集の実施

- (1) 全ての高等学校は、学校・学科の特色に応じて、学科・コースの募集単位（以下「募集単位」という。）ごとに、求める生徒像、選抜方法、共通選抜、特色選抜の選抜順序及び募集割合等を所属教育委員会教育長に申請し、承認を受ける。
- (2) 共通選抜の募集割合は、募集定員の50%～90%とする。ただし、体育及び美術に関する学科並びに定時制課程においては10%～90%の範囲内で設定する。
- (3) 特色選抜の募集割合は、募集定員の10%～50%とする。ただし、体育及び美術に関する学科並びに定時制課程においては10%～90%の範囲内で設定する。
- (4) 募集割合の設定は、5%区切りとする。
- (5) 併設型中高一貫教育を実施する仙台二華高等学校及び古川黎明高等学校における共通選抜、特色選抜の募集割合は、併設中学校からの入学予定者を除いた人数に対して設定する。
- (6) 各高等学校の募集単位ごとの共通選抜、特色選抜の募集割合及び選抜順序・方法等については、「求める生徒像・選抜方法一覧」で公表する。

2 出願資格

第一次募集に出願できる者は、「I 募集及び出願」の「2 出願資格」（4頁）による。ただし、県外の国公立高等学校に合格した者は出願することができない。

3 出願制限

- (1) 出願できる高等学校、課程、学科及びコースは、一つに限る。
- (2) 複数の学科・コースを併置する高等学校にあつては、当該校の他の学科・コースを第2志望とすることができる。

各高等学校の第2志望とすることを認める学科・コースについては、「求める生徒像・選抜方法一覧」で公表する。

4 出願手続

(1) 出願書類

イ 志願者が用意するもの

① 入学願書及び写真票

入学願書には、入学者選抜手数料として、県立高等学校志願者にあつては県立学校条例（昭和39年条例第16号。以下「県立学校条例」という。）で定める額の宮城県収入証紙（全日制課程は2,200円、定時制課程は950円）を貼付すること。ただし、収入証紙に消印、割印しないこと。

市立高等学校志願者にあつては、仙台市学校条例（昭和39年仙台市条例第15号。以下「仙台市条例」という。）又は石巻市立学校の授業料等徴収条例（平成20年石巻市条例第38号。以下「石巻市条例」という。）で定める額の手数料（全日制課程は2,200円、定時制課程は950円）を金融機関に納入し、仙台市立高等学校志願者にあつては納入通知書兼領収書を、石巻市立高等学校志願者にあつては納入通知書兼領収証書を、願書裏面に貼付すること。

ロ 中学校が用意するもの

② 調査書（様式B）

調査書の記載内容等について特別な事情がある場合は、副申書を添付することができる。

なお、平成29年3月末日までに中学校を卒業した者については、卒業証明書をもって調査書に代えることができる。

③ 出願者一覧表（様式C） 1通

④ 受験票等送付用封筒 1通

角形2号封筒に、簡易書留速達郵便料金分の切手を貼付し、当該中学校の校長名、住所、郵便番号等を明記したもの。ただし、受験票の郵送を希望する場合のみ提出すること。

⑤ 結果通知用封筒 1通

角形2号封筒に、簡易書留速達郵便料金分の切手を貼付し、当該中学校の校長名、住所、郵便番号等を明記したもの。ただし、第一次募集結果通知書（様式G）及び合格通知書（様式H）の郵送を希望する場合のみ提出すること。

(2) 出願書類の提出方法

第一次募集志願者は、上記(1)の①を中学校長へ提出する。中学校長は提出されたものに②～⑤を加えて高等学校長に提出する。

なお、出願書類の提出を郵送により行う場合は簡易書留とし、封筒に「第一次募集願書在中」と朱書すること。

(注意) 上記(1)の①～⑤の出願書類(貼付の宮城県収入証紙又は金融機関に納入した手数料のほか、返信用の切手も含む。)は、高等学校においていったん受理した後は、出願期間内であっても返還しないので注意すること。

(3) 出願受付

- イ 出願書類を受理した高等学校においては、受験番号を付した受験票を交付する。
- ロ 県外からの出願については、宮城県公立高等学校出願承認書(様式L)の写しが添付されていることを確認の上、受理すること。

(4) 受験票の受領

出願者は、中学校長から受験票を受け取る。

(5) 県境隣接

中学校長は、県境隣接協定による志願者について、その住所を同協定の定めるところに基づいて確認し、適正を期す。

5 県外からの出願

県外からの出願については、「Ⅶ 県外からの出願」(24頁)による。

6 出願期間

出願受付期間は、2月14日(火)から2月17日(金)までとする。
 受付時間は、午前9時から午後4時までとし、締切日の2月17日(金)は午前11時までとする(郵送する場合であっても、2月17日(金)午前11時までに必着のこと。)

7 出願者数等の報告

高等学校長は、2月17日(金)午前11時の出願締切後直ちに、第一次募集出願者数等(募集単位別)を県教育長(高校教育課教育指導第二班宛て)に電子メールで報告する。
 なお、市立高等学校にあつては、所属教育委員会教育長を経て県教育長(高校教育課教育指導第二班宛て)に報告する。

8 学力検査

- (1) 学力検査は、3月6日(月)に各高等学校において実施する。
- (2) 学力検査を実施する教科は、国語、数学、社会、英語及び理科とする。
- (3) 学力検査の日程は、次の表のとおりとする。

時間 月 日	8:30	9:05	9:55	10:15	11:05	11:25	12:15	13:00	13:50	14:10	15:00
3月6日(月)	受付確認 諸注意	[1] 国語		[2] 数学		[3] 社会	昼食 休憩	[4] 英語		[5] 理科	

- (4) 学力検査を受ける際、分度器（分度器機能付きの定規を含む）の使用や計算、翻訳、辞書、通信等の機能を有する機器類（スマートフォン・スマートウォッチ等を含む）の使用は認めない。その他、アラーム音を発するなど検査の公正を欠くおそれのある物も同様とする。指示に従わない場合は不正行為とみなす。
- (5) やむを得ない理由により学力検査及び面接等を分校において実施する高等学校にあつては、その旨を11月11日（金）までに県教育長（高校教育課教育指導第二班宛て）に申請し、承認を受ける。

9 面接、実技、作文

- (1) 全ての高等学校は、募集単位ごとに、それぞれの特色に応じて、面接、実技（体育及び美術に関する学科の場合）、作文（以下、「面接等」という。）を実施することができる。
- (2) 面接等は3月6日（月）の学力検査終了後又はその翌日の3月7日（火）に各高等学校において実施する。
- (3) 面接等の実施日、実施時間等については各学校で定め、受験票交付時に当該高等学校長から中学校長を通じて、受験者に通知する。
- (4) 面接等を実施する高等学校は、問題作成委員会を設置し、組織的、計画的に問題作成及び点検を行うこと。また、出題の形式、内容、配点及び実施時間等について、適切なものとなるよう考慮すること。
- (5) 面接は、複数の担当者で実施し、実施に当たっては、客観的かつ公平であるよう考慮すること。

10 追試験

(1) 追試験の実施

第一次募集検査日当日に学力検査又は面接等をやむを得ない事由により受験できなかった者に対する受験機会の確保のために、追試験を実施する。

(2) 対象者

イ 追試験は、第一次募集検査日当日に学力検査、面接等を欠席した者で、次のいずれかに該当する者を対象として実施する。

- (イ) インフルエンザ等の感染症等の罹患者及びその症状のある者
- (ロ) その他やむを得ない事由のある者

ロ 学力検査と面接等を別日程で実施する高等学校において、いずれかの日程を欠席した場合には、欠席した日に実施された学力検査や面接等についてのみ追試験を実施する。

ハ 学力検査を1科目でも受験した場合には、学力検査の追試験を認めない。

(3) 実施日

イ 学力検査は、3月13日（月）に実施する。

ロ 面接等は、3月13日（月）又は3月14日（火）に実施する。

(4) 実施方法

- イ 追試験における学力検査及び面接等は、第一次募集に準じて実施する。
- ロ 追試験においては、学力検査と面接等を同一日に実施することも可能とする。
- ハ 面接等の実施日、実施時間等は、当該高等学校長から中学校を通じて、受験生に通知する。

(5) 実施会場

受験生が出願した高等学校において実施する。

(6) 実施上の手続き

- イ やむを得ない事由により第一次募集の学力検査及び面接等を受験できなくなった受験生は、在籍する中学校長へ速やかに電話等で申し出る。
- ロ 当該中学校長は、追試験の必要があると認めた場合には、第一次募集検査日の午後4時までに、出願先高等学校長へ電話等で連絡する。
- ハ 当該中学校長は、3月8日（水）午後3時までに、追試験申請書（様式T-1）に証明書類等を添付し、出願先高等学校長へ持参又は郵送する。
- ニ 申請書及び証明書類等（以下「申請書類」という。）を受理した高等学校長は、申請書類を審査の上、追試験の承認の可否を判断し、その事由がやむを得ないものと認めた場合は、速やかに当該中学校長宛てに追試験受験許可証（様式T-2）を持参又は郵送する。
- ホ 追試験受験を認められた受験生は追試験当日、受験票及び追試験受験許可証の写しを受付で提示し、受験する。
- ヘ 追試験に係る書類の送付については、事態の緊急性に鑑み、まずFAX等で送付し、その後、速やかに持参又は郵送することとする。

11 選抜

- (1) 選抜は、調査書、学力検査の結果に基づいて選抜する共通選抜と、調査書、学力検査の結果及び面接等の結果に基づいて選抜する特色選抜の2つの選抜方法により行う。
- (2) 共通選抜と特色選抜の選抜の順序・方法等については、「求める生徒像・選抜方法一覧」で公表した順序・方法等により行う。
- (3) 共通選抜
 - イ 調査書点は、調査書の「1 各教科の学習の記録」の音楽、美術、保健体育及び技術・家庭の4教科の評定値を2倍にして、国語、数学、社会、英語及び理科の評定値と合計して算出する。
 - ロ 学力検査点は、国語、数学、社会、英語及び理科の学力検査の得点の合計点とする。
 - ハ 高等学校長は、調査書点と学力検査点の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。このとき、あらかじめ届け出た調査書点と学力検査点の比重に基づき、その両方の満点により近い者を上位とし、上位の者から審査し、共通選抜の募集人数分を選抜する。ただし、体育及び美術に関する学科にあっては、実技の評価を選抜資料に加えて選抜することができる。

なお、相関図での調査書点と学力検査点の比重は、各高等学校が募集単位ごとに次の割合の中から定める。

比 重	調査書重視		同等	学力検査重視	
調査書：学力検査	7：3	6：4	5：5	4：6	3：7

(4) 特色選抜

イ 調査書点は、調査書の「1 各教科の学習の記録」の各教科・各学年の評定を、各高等学校が募集単位ごとに、教科ごと、学年ごとに定めた倍率を用いて算出する。

倍率は、国語、数学、社会、英語及び理科については0.25, 0.5, 0.75, 1.0, 1.25, 1.5, 1.75, 2.0から、音楽、美術、保健体育及び技術・家庭については0.5, 1.0, 1.5, 2.0, 2.5, 3.0, 3.5, 4.0から定める。ただし、不登校生徒を積極的に受け入れる高等学校にあつては、この倍率未満の設定ができるものとする。

ロ 学力検査点は、国語、数学、社会、英語及び理科の学力検査の得点を、各高等学校が募集単位ごとに、教科ごとに定めた倍率を用いて算出した得点の合計点とする。

倍率は、0.25, 0.5, 0.75, 1.0, 1.25, 1.5, 1.75, 2.0から定める。

ハ 高等学校長は、調査書点、学力検査点、各高等学校が募集単位ごとに実施した面接等の得点を合計し、その合計点を基に、調査書の記載事項も用いて総合的に審査し、選抜する。

なお、特色選抜の審査対象者は、合計点上位の者から、各高等学校が募集単位ごとに定めた範囲内の者とする。

範囲は、募集人数の120%から200%のうち、5%区切りで設定する。

また、調査書の「1 各教科の学習の記録」以外の記載事項については、これを選抜資料として十分活用するよう特に配慮することとし、副申書を除くその他の資料を選抜の資料に加える場合は、所属教育委員会教育長と事前に協議する。

(5) 第2志望の受験者の選抜については、原則として募集定員が満たされていない学科・コースにおいて、共通選抜の方法で行うこととする。

(6) 追試験を受験した者の選抜については、第一次募集に含めて行うこととする。

12 合格者の発表

合格者の発表は、3月16日（木）午後3時に各高等学校において行う。

高等学校長は、選抜の結果を第一次募集結果通知書（様式G）及び合格通知書（様式H）により中学校長に通知する。

13 合格者数等の報告

(1) 高等学校長は、合格者決定後、3月16日（木）正午までに合格者数等（募集単位別）を県教

育長（高校教育課教育指導第二班宛て）に電子メールで報告する。

なお、市立高等学校にあつては、所属教育委員会教育長を経て県教育長（高校教育課教育指導第二班宛て）に報告する。

- (2) 高等学校長は、**3月24日（金）**までに検査等の実施状況を県教育長（高校教育課教育指導第二班宛て）に報告する。

なお、市立高等学校にあつては、所属教育委員会教育長にも報告する。

14 第一次募集出願の特例措置

- (1) 第一次募集の出願後、県内における一家転住により、やむを得ず出願先の変更を希望する者については、審査の上、特例として出願先の変更を認めることがある。この場合、次のイ及びロの関係書類を整え、既に出願している高等学校長に申請し、承認を受ける。

なお、書類の提出を郵送により行う場合は、簡易書留とし、封筒に「出願承認願在中」と朱書すること。

イ 宮城県公立高等学校出願承認願（県内の特例措置による出願者用）（様式K-1）

ロ 返信用封筒 1通

長形3号封筒に、簡易書留速達郵便料金分の切手を貼付し、宛先等を明記したもの

- (2) 上記(1)の申請期間は**2月20日（月）**から**3月2日（木）**までとする（ただし、土曜日、日曜日、祝日を除く）。申請受付時間は、午前9時から午後4時までとし、**3月2日（木）**は**午前11時まで**とする（郵送する場合であっても、**3月2日（木）午前11時までに必着**のこと）。

- (3) 宮城県公立高等学校出願承認書の交付

高等学校長は、宮城県公立高等学校出願承認願（県内の特例措置による出願者用）（様式K-1）を受理した場合には、出願審査委員会を設けるなどして、公正かつ適正な審査を行い、その理由がやむを得ないものであると認めた場合は、宮城県公立高等学校出願承認書（様式L）を交付する。

上記の審査が困難な場合は、高等学校長は、所属教育委員会教育長と協議を行う。

- (4) 特例措置の承認を受けた者は、上記(2)の申請期間内に志願高等学校に出願の手続きを済ませること（ただし、土曜日、日曜日、祝日を除く）。出願受付時間は、午前9時から午後4時までとし、**3月2日（木）**は**正午まで**とする（郵送する場合であっても、**3月2日（木）正午までに必着**のこと）。

- (5) 高等学校長は、特例措置による宮城県公立高等学校出願承認書（様式L）を交付した者について**3月3日（金）**までに県教育長（高校教育課教育指導第二班宛て）に電子メールで報告する。

なお、市立高等学校にあつては、所属教育委員会教育長を経て県教育長（高校教育課教育指導第二班宛て）に報告する。

15 合格者の取扱い

第一次募集による合格者は、第二次募集及び通信制課程の選抜に出願できない。

IV 第二次募集（全日制・定時制課程）

1 第二次募集の実施

- (1) 第一次募集の合格発表の時点で募集定員が満たされていない高等学校の課程，学科・コースについては，第二次募集を行う。
- (2) 募集は，課程，学科・コースごとに行う。
- (3) 第二次募集を行う高等学校，課程，学科・コース及び募集人数並びに合格者の発表日等については，別に公表する。

2 実施予定の報告

- (1) 第一次募集（社会人特別選抜を含む。）及び連携型選抜の出願者数が募集定員に満たないため第二次募集を実施する予定となった高等学校長は，2月17日（金）午前11時の第一次募集の出願締切後直ちに，第二次募集予定報告（様式N）を用いて，県教育長（高校教育課教育指導第二班宛て）に電子メールで報告する。
- (2) 第一次募集（社会人特別選抜を含む。）及び連携型選抜の合格者数並びに併設型中学校からの入学予定者数の計が募集定員に満たないため第二次募集を実施する高等学校長（2月17日（金）に実施予定を報告した高等学校を含む。）は，第一次募集の合格者決定後，3月16日（木）正午までに募集人数を第二次募集予定報告（様式N）を用いて，県教育長（高校教育課教育指導第二班宛て）に電子メールで報告する。
- (3) 市立高等学校にあっては，(1)及び(2)のそれぞれについて所属教育委員会教育長を経て県教育長（高校教育課教育指導第二班宛て）に報告する。

3 出願資格

第二次募集に出願できる者は，「I 募集及び出願」の「2 出願資格」（4頁）に該当する者のうち，次の(1)～(5)のいずれかに該当する者とする。

- (1) 本県の公立高等学校の第一次募集（社会人特別選抜を含む。）及び連携型選抜又は私立高等学校の入学試験を受験し，いずれにも合格していない者

この趣旨は，本県の公私立高等学校を受験して合格していない者に対し，第二次募集を行う高等学校に限り，再度受験の機会を与えることにある。

ただし，いずれの高等学校にも合格していない者には，私立高等学校の入学試験に合格し，最終の入学手続をとらない者を含む。

- (2) 本県の公立高等学校の第一次募集（社会人特別選抜を含む。）及び連携型選抜に出願したが，病気や不慮の事故等で受験できなかった者

この趣旨は，本県の公立高等学校の第一次募集に出願したが，病気や不慮の事故等で受験できなかった者に対して，第二次募集を行う高等学校に限り，受験の機会を与えることにある。

この場合、私立高等学校に合格している者を含む。

- (3) 県外からの一家転住者で、県外の国公立高等学校に合格していない者

この趣旨は、「Ⅶ 県外からの出願」の「4 県外からの出願の特例措置」に定めている申請期間以降に県外から一家転住してきた者に対して、第二次募集を行う高等学校に限り、受験の機会を与えることにある。この場合の資格審査は、志願高等学校長が行う。

(注意) この場合の承認の手続きは、「Ⅶ 県外からの出願」の「4 県外からの出願の特例措置」に準ずる。

- (4) 県境隣接地域に住所を有する者で、国公立高等学校のいずれにも合格していない者

この趣旨は、国公立高等学校を受験して合格していない県境隣接地域に住所を有する者に対し、県境隣接協定に基づく高等学校のうち、第二次募集を行う高等学校に限り、再度受験の機会を与えることにある。県境隣接地域に住所を有する者については、本県公立高等学校の第一次募集に出願していなくとも、第二次募集への出願を認める。

ただし、いずれの高等学校にも合格していない者には、私立高等学校の入学試験に合格し、最終の入学手続きをとらない者を含む。

- (5) 県の内外を問わず、国公立高等学校いずれにも出願又は合格しなかった者

4 出願制限

- (1) 出願できる高等学校は、第二次募集を実施する高等学校の一つに限る。
- (2) 出願できる課程及び学科・コースは、一つに限る。
- (3) 通信制課程との併願はできない。

5 出願手続

- (1) 出願書類

イ 志願者が用意するもの

① 入学願書及び写真票

入学願書には、入学者選抜手数料として、県立高等学校志願者にあつては県立学校条例で定める額の宮城県収入証紙（全日制課程は2,200円、定時制課程は950円）を貼付すること。ただし、収入証紙に消印、割印しないこと。

市立高等学校志願者にあつては、仙台市条例又は石巻市条例で定める額の手数料（全日制課程は2,200円、定時制課程は950円）を金融機関に納入し、仙台市立高等学校志願者にあつては納入通知書兼領収書を、石巻市立高等学校志願者にあつては納入通知書兼領収証書を、願書裏面に貼付すること。

ロ 中学校が用意するもの

② 調査書（様式B）

調査書の記載内容等について特別な事情がある場合は、副申書を添付することができ

る。

なお、平成29年3月末日までに中学校を卒業した者については、卒業証明書をもって調査書に代えることができる。

③ 出願者一覧表（様式C） 1通

中学校長は、出願者が出願資格を有する者であることの証明として、備考欄に「3 出願資格」の(1)～(5)のうち該当する番号を明記すること。

④ 受験票等送付用封筒 1通

長形3号封筒に、簡易書留速達郵便料金分の切手を貼付し、当該中学校の校長名、住所、郵便番号等を明記したもの。ただし、受験票の郵送を希望する場合のみ提出すること。

⑤ 結果通知用封筒 1通

角形2号封筒に、簡易書留速達郵便料金分の切手を貼付し、当該中学校の校長名、住所、郵便番号等を明記したもの。ただし、第二次募集結果通知書（様式G）及び合格通知書（様式H）の郵送を希望する場合のみ提出すること。

(2) 出願書類の提出方法

第二次募集志願者は、上記(1)の①を中学校長へ提出する。中学校長は提出されたものに②～⑤を加えて高等学校長に提出する。

なお、出願書類の提出を郵送により行う場合は簡易書留とし、封筒に「第二次募集願書在中」と朱書すること。

(注意) 中学校長は、志願者が「3 出願資格」及び「4 出願制限」の定めに該当するかどうかを十分確認の上、出願手続を行うこと。

高等学校長は、出願資格等の審査について厳正を期すこと。

(注意) 上記(1)の①～⑤の出願書類（貼付の宮城県収入証紙又は金融機関に納入した手数料のほか、返信用の切手も含む。）は、高等学校においていったん受理した後は、出願期間内であっても返還しないので注意すること。

(3) 出願受付

イ 出願書類を受理した高等学校においては、受験番号を付した受験票を交付する。

ロ 県外からの出願については、宮城県公立高等学校出願承認書（様式L）の写しが添付されていることを確認の上、受理すること。

(4) 出願者は、中学校長から受験票を受け取る。

6 県外からの出願

県外からの出願については、「Ⅶ 県外からの出願」（24頁）による。

7 出願期間

出願受付期間は、3月17日（金）から3月22日（水）までとする（ただし、土曜日、日曜日、祝日を除く。）。

受付時間は、午前9時から午後4時までとし、締切日の3月22日（水）は午後3時までとする（郵送する場合であっても、3月22日（水）午後3時までに必着のこと。）。

8 出願者数等の報告

第二次募集を実施する予定となった高等学校長は、3月22日（水）午後3時の出願締切後直ちに、第二次募集出願者数（募集単位別）を県教育長（高校教育課教育指導第二班宛て）に電子メールで報告する。

なお、市立高等学校にあつては、所属教育委員会教育長を経て県教育長（高校教育課教育指導第二班宛て）に報告する。

9 学力検査等

(1) 学力検査等の実施

学力検査等を実施する高等学校にあつては、3月23日（木）に行う。

(2) 学力検査の実施教科、実施時間等については高等学校ごとに定める。

(3) 面接、実技、作文の内容及び時間については、適切なものとなるよう考慮すること。

(4) やむを得ない理由により学力検査等を分校において実施する高等学校にあつては、その旨を3月13日（月）正午までに県教育長（高校教育課教育指導第二班宛て）に申請し、承認を受ける。

10 選抜

選抜は、調査書のみ審査、あるいは調査書に、第二次募集の学力検査、面接、実技、作文のいずれか一つ又は複数の結果を合わせた総合的な審査により行う。

11 合格者の発表

合格者の発表は、高等学校ごと、3月23日（木）又は3月24日（金）に行う。高等学校長は、選抜の結果を第二次募集結果通知書（様式G）及び合格通知書（様式H）により中学校長に通知する。

12 合格者数等の報告

高等学校長は、合格者の発表後直ちに、第二次募集結果の報告（様式O）を県教育長（高校教育課教育指導第二班宛て）に電子メールで報告する。

なお、市立高等学校にあつては、所属教育委員会教育長を経て県教育長（高校教育課教育指導第二班宛て）に報告する。

V 連携型選抜

1 連携型選抜の実施

- (1) 連携型高等学校は、連携型中学校（南三陸町立志津川中学校，同歌津中学校）からの志願者を対象とした連携型選抜を実施する。
- (2) 連携型高等学校は、学科ごとに連携型選抜の募集割合及び選抜方法等を県教育委員会教育長に申請し、承認を受ける。
- (3) 連携型選抜の募集割合等については、「求める生徒像・選抜方法一覧」で公表する。

2 出願資格

連携型選抜に出願できる者は、次の条件を全て満たし、連携型中学校の校長（以下「連携型中学校長」という。）が認めた者とする。

- (1) 令和5年3月に連携型中学校を卒業する見込みの者であること。
- (2) 連携型高等学校，学科を志願する動機や理由が明確で適切であること。
- (3) 連携型高等学校，学科に対する適性及び興味・関心を有すること。
- (4) 中学校生活を意欲的に送り、入学後も学校生活を意欲的に送る意志があること。

3 出願制限

出願できる学科は、一つに限る。

4 出願手続

(1) 出願書類

イ 志願者が用意するもの

① 連携型選抜用入学願書及び写真票

入学願書には、入学者選抜手数料として、県立学校条例で定める額の宮城県収入証紙（全日制課程2,200円）を貼付すること。ただし、収入証紙に消印、割印しないこと。

ロ 中学校が用意するもの

② 調査書（様式B）

調査書の記載内容等について特別な事情がある場合は、副申書を添付することができる。

③ 出願者一覧表（様式C） 1通

④ 受験票等送付用封筒 1通

角形2号封筒に、簡易書留速達郵便料金分の切手を貼付し、当該中学校の校長名、住所、郵便番号等を明記したもの。ただし、受験票の郵送を希望する場合のみ提出すること。

⑤ 結果通知用封筒 1通

角形2号封筒に、簡易書留通常郵便料金分の切手を貼付し、当該中学校の校長名、住所、郵便番号等を明記したもの。ただし、結果通知書（様式G）及び合格通知書（様式H）の郵送を希望する場合のみ提出すること。

(2) 出願書類の提出方法

連携型選抜志願者は、上記(1)の①を連携型中学校長へ提出し、連携型中学校長は②～⑤を加えて、連携型高等学校の校長（以下「連携型高等学校長」という。）に提出する。

なお、出願書類の提出を郵送により行う場合は簡易書留とし、封筒に「連携型選抜願書在中」と朱書すること。

（注意） 上記(1)の①～⑤の出願書類（貼付の宮城県収入証紙のほか、返信用の切手も含む。）は、連携型高等学校においていったん受理した後は、出願期間内であっても返還しないので注意すること。

(3) 出願受付

出願書類を受理した連携型高等学校においては、受験番号を付した受験票を交付する。

(4) 出願者は、連携型中学校長から受験票を受け取る。

5 出願期間

出願受付期間は、2月14日（火）から2月17日（金）までとする。

受付時間は、午前9時から午後4時までとし、締切日の2月17日（金）は午前11時までとする（郵送する場合であっても、2月17日（金）午前11時までに必着のこと。）。

6 出願者数等の報告

連携型高等学校長は、2月17日（金）午前11時の出願締切後直ちに、連携型選抜出願者数等（学科別）を県教育長（高校教育課教育指導第二班宛て）に電子メールで報告する。

7 検査内容

検査内容は、第一次募集に準ずる。

8 選抜

- (1) 連携型高等学校は、原則として調査書、学力検査及び面接の結果等に基づいて総合的に審査し、選抜する。

- (2) 連携型高等学校長は、第一次募集の特色選抜による合格者の数があらかじめ定めた第一次募集の特色選抜の募集人数に満たない場合、当該募集人数から当該合格者の数を減じた人数を連携型選抜の募集人数に加えて、合格させることができる。

9 合格者の発表

合格者の発表は、3月16日（木）午後3時に連携型高等学校において行う。

連携型高等学校長は、選抜の結果を連携型選抜結果通知書（様式G）及び合格通知書（様式H）により連携型中学校長に通知する。

10 合格者数等の報告

- (1) 連携型高等学校長は、合格者決定後、3月16日（木）正午までに合格者数等（学科別）を県教育長（高校教育課教育指導第二班宛て）に電子メールで報告する。
- (2) 連携型高等学校長は、3月24日（金）までに検査等の実施状況を県教育長（高校教育課教育指導第二班宛て）に報告する。

11 合格者の取扱い

連携型選抜による合格者は、第二次募集及び通信制課程の選抜に出願できない。

VI 社会人特別選抜（定時制課程）

1 社会人特別選抜の実施

- (1) 定時制課程の高等学校は、社会人を対象とした特別の選抜（以下「社会人特別選抜」という。）を実施することができる。

社会人特別選抜を実施する高等学校にあつては、実施学科名、募集人数及び学力検査の教科等を所属教育委員会教育長に申請し、承認を受けること。

- (2) 社会人特別選抜を実施する高等学校、学科等については、「求める生徒像・選抜方法一覧」で公表する。

2 出願資格

社会人特別選抜に出願できる者は、「I 募集及び出願」の「2 出願資格」（4頁）による。ただし、次の(1)及び(2)の全ての条件に該当する者とする。

- (1) 事業所勤務者については、合わせて3年以上勤務した者又は令和5年3月31日現在において合わせて3年以上勤務する見込みの者。また、自営業者、家事従事者等については、当該業務従事を「勤務」とみなし、上記の勤務年数に係る条件を満たす者。

なお、当該業務従事年数と事業所勤務年数とを合わせて勤務年数とすることができる。

- (2) 次の条件を満たし、勤務先の所属長など責任をもって本人を推薦できる者（以下「所属長等」という。）の推薦を得た者。

イ 勤務態度等が優秀で、人物が優れていること。

ロ 当該高等学校、学科等を志望する動機や理由が明確で適切であること。

ハ 当該高等学校、学科等に対する適性及び興味・関心を有すること。

3 出願制限

- (1) 出願できる高等学校は、社会人特別選抜を実施する高等学校の一つに限る。

- (2) 出願できる学科は、一つに限る。

4 出願手続

- (1) 出願書類

イ 志願者が用意するもの

① 入学願書及び写真票

入学願書には、入学者選抜手数料として、県立高等学校志願者にあつては県立学校条例で定める額の宮城県収入証紙（定時制課程950円）を貼付すること。ただし、収入証紙に消印、割印しないこと。

仙台市立高等学校志願者にあつては、仙台市条例で定める額の手数料（定時制課程950

円)を金融機関に納入し、納入通知書兼領収書を、願書裏面に貼付すること。

② 受験票等送付用封筒 所属長等宛て及び中学校長宛て 各1通

それぞれ、長形3号封筒に、簡易書留速達郵便料金分の切手を貼付し、所属長等名、住所、郵便番号等を明記したもの

③ 結果通知用封筒 所属長等宛て及び中学校長宛て 各1通

それぞれ、角形2号封筒に、簡易書留速達郵便料金分の切手を貼付し、所属長等名、住所、郵便番号等を明記したもの

ロ 所属長等が用意するもの

④ 社会人特別選抜推薦書(様式J)(所属長等が作成し厳封したもの)

ハ 中学校が用意するもの

⑤ 調査書(様式B)(中学校長が作成し厳封したもの)

調査書の記載内容等について特別な事情がある場合は、副申書を添付することができる。

なお、平成29年3月末日までに中学校を卒業した者については、卒業証明書をもって調査書に代えることができる。

(2) 出願書類の提出方法

社会人特別選抜志願者は、上記(1)の①～⑤を所属長等を経て高等学校長に提出する。

なお、出願書類の提出を郵送により行う場合は簡易書留とし、封筒に「社会人特別選抜願書 在中」と朱書すること。

(注意) 上記(1)の①～⑤の出願書類(貼付の宮城県収入証紙又は添付の手数料のほか、返信用の切手も含む。)は、高等学校においていったん受理した後は、出願期間内であっても返還しないので注意すること。

(3) 出願受付

出願書類を受領した高等学校においては、出願書類受領書(様式D)を交付する。

5 出願期間

第一次募集の出願期間(「Ⅲ 第一次募集」の「6 出願期間」(9頁))に同じ。

6 出願者数等の報告

第一次募集の出願者数等の報告(「Ⅲ 第一次募集」の「7 出願者数等の報告」(9頁))に同じ。

7 受験票等の送付

- (1) 高等学校長は、出願者が「2 出願資格」を満たしているかを審査する。その際、高等学校長は、所属長等及び中学校長並びに出願者に問い合わせることができる。
- (2) 高等学校長は2月24日（金）までに、受験票送付一覧（様式F）及び出願資格を満たしている出願者の受験票を所属長等に、また、受験票送付一覧の写しを中学校長に簡易書留速達で送付する。
- (3) 「2 出願資格」を満たしている出願者は、所属長等から受験票を受け取る。

8 学力検査及び面接等

「Ⅲ 第一次募集」の「9 面接、実技、作文」（10頁）に準ずる。ただし、学力検査については、一部の教科又は全ての教科を実施しないことができるものとし、実施内容等については、「求める生徒像・選抜方法一覧」で公表し、詳細は受験票送付時に当該高等学校長から所属長等を通じて本人に通知する。

9 選抜

選抜は、推薦書、調査書、学力検査及び面接等の結果に基づく総合的な審査により行う。

10 合格者の発表

合格者の発表は、3月16日（木）午後3時に各高等学校において行う。

高等学校長は、選抜の結果を、社会人特別選抜結果通知書（様式G）及び合格通知書（様式H）により所属長等へ通知する（3月16日（木）午後3時頃に郵便で発送する。）。また、中学校長には社会人特別選抜結果通知書（様式G）の写しを送付する。

11 合格者数等の報告

「Ⅲ 第一次募集」の「13 合格者数等の報告」（12頁）に準ずる。

12 合格者の取扱い

社会人特別選抜による合格者は、第二次募集及び通信制課程の選抜に出願できない。

Ⅶ 県外からの出願（全日制・定時制課程）

県外から第一次募集、第二次募集及び社会人特別選抜に出願する者については、次の諸点に留意すること。

1 出願承認の申請

県外に住所を有する者又は県外の中学校を卒業した者が、以下の(1)及び(2)に掲げるやむを得ない理由で宮城県内の公立高等学校に入学を志願する場合は、宮城県公立高等学校出願承認願（県外からの出願者用）（様式K-2）を志願する高等学校長に提出し、承認を受けなければならない。ただし、県境隣接協定（70頁）による志願者を除く。

(1) 住所の異動によるもの

- イ 保護者の転勤等に伴う一家転住によって本県内に住所を異動せざるを得ない場合
- ロ その他特別な家庭の事情によって本県内に住所を異動せざるを得ない場合（例えば、保護者の海外勤務に伴って、保護者に準ずる者に志願者の保護を託した場合等）

(2) その他

上記(1)のほか県外に住所を有する者又は県外の中学校を卒業した者が、当該高等学校に就学することが、特にやむを得ないと認められる合理的事由がある場合

2 出願承認の申請手続

(1) 県外からの志願者は、以下のイ及びロの書類を高等学校長に提出する。

なお、書類の提出を郵送により行う場合は、封筒に「出願承認願在中」と朱書すること。

- イ 宮城県公立高等学校出願承認願（県外からの出願者用）（様式K-2）
- ロ 返信用封筒 1通

長形3号封筒に、簡易書留速達郵便料金分の切手を貼付し、宛先等を明記したもの

(2) 受付期間

受付期間は、12月13日（火）から2月16日（木）までとする（ただし、土曜日、日曜日、祝日、12月29日から1月3日までを除く。）。受付時間は、午前9時から午後4時までとし、締切日の2月16日（木）は午前11時までとする。

なお、出願承認の申請は、可能な限り早い時期に行うこと。

(3) 宮城県公立高等学校出願承認書の交付

高等学校長は、宮城県公立高等学校出願承認願（県外からの出願者用）（様式K-2）を受理した場合には、県外からの出願審査委員会を設けるなどして、公正かつ適正な審査を行い、その理由がやむを得ないものであると認めた場合は、宮城県公立高等学校出願承認書（様式L）を交付する。

上記「1 出願承認の申請」の(1)について審査が困難な場合及び(2)の場合は、高等学校長は、所属教育委員会教育長と協議を行う。

- (4) 高等学校長は、宮城県公立高等学校出願承認書（様式L）を交付した者について、3月3日（木）までに県教育長（高校教育課教育指導第二班宛て）に電子メールで報告する。

なお、市立高等学校にあつては、所属教育委員会教育長を経て県教育長（高校教育課教育指導第二班宛て）に報告する。

3 出願手続

- (1) 県外からの出願が承認された後の志願変更について

出願に当たっては、出願承認を受けた高等学校から、他の高等学校に志願を変更することができる。

ただし、第二次募集出願時において県外からの出願承認を受けた者は、出願承認を受けた高等学校から他の高等学校に志願を変更することはできない。

- (2) 出願書類

イ 志願者が用意するもの

① 入学願書及び写真票

入学願書には、入学者選抜手数料として、県立高等学校志願者にあつては県立学校条例で定める額の宮城県収入証紙（全日制課程は2,200円、定時制課程は950円）を貼付すること。ただし、収入証紙に消印、割印しないこと。

市立高等学校志願者にあつては、仙台市条例又は石巻市条例で定める額の手数料（全日制課程は2,200円、定時制課程は950円）を金融機関に納入し、仙台市立高等学校志願者にあつては納入通知書兼領収書を、石巻市立高等学校志願者にあつては納入通知書兼領収証書を、願書裏面に貼付すること。

② 宮城県公立高等学校出願承認書（様式L）の写し 1通

「2 出願承認の申請手続」の「(3)」で交付された書類の写し

ロ 中学校が用意するもの

③ 調査書（様式B）（中学校長が作成し、厳封したもの）

調査書の記載内容等について特別な事情がある場合は、副申書を添付することができる。

なお、平成29年3月末日までに中学校を卒業した者については、卒業証明書をもって調査書に代えることができる。

④ 出願者一覧表（様式C） 1通

第二次募集に出願する場合は、「IV 第二次募集」の「5 出願手続 (1) ロ③」（16頁）を参照すること。

⑤ 受験票等送付用封筒 1通

角形2号封筒に、簡易書留速達郵便料金分の切手を貼付し、当該中学校の校長名、住所、郵便番号等を明記したもの。ただし、受験票の郵送を希望する場合のみ提出すること。

⑥ 結果通知用封筒 1通

長形3号封筒に、簡易書留速達郵便料金分の切手を貼付し、当該中学校の校長名、住所、郵便番号等を明記したもの

(注意) 第一次募集及び第二次募集において、県外の中学校で、志願者が合格通知書を直接受領することを希望する場合には、当該中学校長が作成した委任状を志願者が持参し受領する旨、高等学校に連絡すること。高等学校は、委任状を受領し、志願者に合格通知書を交付すること。この場合は、結果通知用封筒では結果通知書(様式G)のみを送付する。

(3) 出願書類の提出方法

県外からの志願者は、上記(2)の①～⑥を本人が高等学校長に提出し、受験票の交付を受ける。

なお、出願書類の提出を郵送により行う場合は、封筒に「入学願書在中」と朱書すること。

(注意) 上記(2)の①～⑥の出願書類(貼付の宮城県収入証紙又は金融機関に納入した手数料のほか、返信用の切手も含む。)は、高等学校においていったん受理した後は、出願期間内であっても返還しないので注意すること。

4 県外からの出願の特例措置

(1) 県外に住所を有する者又は県外の中学校を卒業した者であって、やむを得ない理由により所定の期間内に本県の公立高等学校に出願手続きができなかった者については、所定の期間後であっても、審査の上、特例として出願を認めることがある。この特例措置による出願を必要とする場合には、関係書類(24頁参照)を整え、高等学校長に申請し、承認を受ける。

なお、この特例措置は、第一次募集にのみ適用される。

(2) 上記(1)の申請期間は2月20日(月)から3月2日(木)までとする(ただし、土曜日、日曜日、祝日を除く。)。申請受付時間は、午前9時から午後4時までとし、3月2日(木)は午前11時までとする。

(3) 特例措置の承認を受けた者は、上記(2)の申請期間内に高等学校に出願の手続きを済ませること(ただし、土曜日、日曜日、祝日を除く。)。出願受付時間は、午前9時から午後4時までとし、3月2日(木)は正午までとする。

(4) 高等学校長は、特例措置による宮城県公立高等学校出願承認書(様式L)を交付した者について3月3日(金)までに県教育長(高校教育課教育指導第二班宛て)に電子メールで報告する。

なお、市立高等学校にあつては、所属教育委員会教育長を経て県教育長(高校教育課教育指導第二班宛て)に報告する。

VIII 全国募集選抜

1 全国募集選抜の実施

- (1) 宮城県中新田高等学校及び宮城県南三陸高等学校（以下「全国募集実施高等学校」という。）において、県外からの志願者を対象とした入学者選抜（以下「全国募集選抜」という。）を実施する。
- (2) 全国募集実施高等学校は、学科ごとに選抜方法等を県教育委員会教育長に申請し、承認を受ける。
- (3) 全国募集選抜に係る募集人数は、宮城県公立高等学校入学者募集定員とは別に定め、「求める生徒像・選抜方法一覧」で公表する。

2 出願資格

全国募集選抜に出願できる者は、次の(1)～(3)をすべて満たす者とする。

- (1) 全国募集実施高等学校が所在する市町村（以下「関係市町村」という。）及び地域での学びに関心があり、志願先の全国募集実施高等学校への志願理由が明確であること。
- (2) 志願者及び保護者が宮城県外に居住していること。
- (3) 志願者が志願先の全国募集実施高等学校への入学期日までに、宮城県内に居住する予定であること。

3 出願制限

出願できる学科は、一つに限る。

4 出願承認の申請

出願を希望する志願者及び保護者は、志願先の全国募集実施高等学校及び関係市町村を事前に訪問、見学等を行い、全国募集実施高等学校及び関係市町村から出願に係る諸手続のほか、入学後の学習環境や居住環境等について十分な説明を受けること。さらに、宮城県公立高等学校出願承認願（県外からの出願者用）（様式K-2）及び身元引受人報告書・身元引受承諾書（様式K-4）を志願する全国募集実施高等学校長に提出し、出願について承認を受けなければならない。なお、身元引受人の確保については、関係市町村に依頼することができる。

5 出願承認の申請手続

- (1) 全国募集選抜の志願者は、以下のイ、ロ及びハの書類を全国募集実施高等学校長に提出する。
なお、書類の提出を郵送により行う場合は、封筒に「出願承認願在中」と朱書すること。
イ 宮城県公立高等学校出願承認願（県外からの出願者用）（様式K-2）

ロ 身元引受人報告書・身元引受承諾書（様式K-4）

ハ 返信用封筒 1通

長形3号封筒に、簡易書留速達郵便料金分の切手を貼付し、宛先等を明記したもの

(2) 受付期間

受付期間は、12月13日（火）から2月16日（木）までとする（ただし、土曜日、日曜日、祝日、12月29日から1月3日までを除く。）。受付時間は、午前9時から午後4時までとし、締切日の2月16日（木）は午前11時までとする。

なお、出願承認の申請は、可能な限り早い時期に行うこと。

(3) 宮城県公立高等学校出願承認書の交付

全国募集実施高等学校長は、宮城県公立高等学校出願承認願（県外からの出願者用）（様式K-2）及び身元引受人報告書・身元引受承諾書（様式K-4）を受理した場合には、審査の上、宮城県公立高等学校出願承認書（様式L）を交付する。

(4) 高等学校長は、宮城県公立高等学校出願承認書（様式L）を交付した者について、3月3日（金）までに県教育長（高校教育課教育指導第二班宛て）に電子メールで報告する。

6 出願手続

(1) 全国募集選抜の出願が承認された後の志願変更について

出願に当たっては、原則として、出願承認を受けた高等学校から、他の高等学校に志願を変更することはできない。

(2) 出願書類

イ 志願者が用意するもの

① 入学願書及び写真票

入学願書には、入学者選抜手数料として、県立学校条例で定める額の宮城県収入証紙（全日制課程2,200円）を貼付すること。ただし、収入証紙に消印、割印しないこと。

② 宮城県公立高等学校出願承認書（様式L）の写し 1通

「5 出願承認の申請手続き」の「(3)」で交付された書類の写し

③ 志願理由書（全国募集選抜用）

ロ 中学校が用意するもの

④ 調査書（様式B）（中学校長が作成し、厳封したもの）

調査書の記載内容等について特別な事情がある場合は、副申書を添付することができる。

なお、平成29年3月末日までに中学校を卒業した者については、卒業証明書をもって調査書に代えることができる。

⑤ 出願者一覧表（様式C） 1通

⑥ 受験票等送付用封筒 1通

角形2号封筒に、簡易書留速達郵便料金分の切手を貼付し、当該中学校の校長名、住所、郵便番号等を明記したもの。ただし、受験票の郵送を希望する場合のみ提出すること。

⑦ 結果通知用封筒 1通

角形2号封筒に、簡易書留速達郵便料金分の切手を貼付し、当該中学校の校長名、住所、郵便番号等を明記したもの。ただし、全国募集選抜結果通知書（様式G）及び合格通知書（様式H）の郵送を希望する場合のみ提出すること。

（注意）志願者が合格通知書を直接受領することを希望する場合には、当該中学校長が作成した委任状を志願者が持参し受領する旨、高等学校に連絡すること。高等学校は、委任状を受領し、志願者に合格通知書を交付すること。この場合は、結果通知用封筒では結果通知書（様式G）のみを送付する。

(3) 出願書類の提出方法

全国募集選抜志願者は、上記(2)の①～⑦を本人が高等学校長に提出し、受験票の交付を受ける。

なお、出願書類の提出を郵送により行う場合は簡易書留とし、封筒に「全国募集選抜願書在中」と朱書すること。

（注意）上記(2)の①～⑦の出願書類（貼付の宮城県収入証紙又は金融機関に納入した手数料のほか、返信用の切手も含む。）は、高等学校においていったん受理した後は、出願期間内であっても返還しないので注意すること。

(4) 出願受付

イ 全国募集選抜への出願については、宮城県公立高等学校出願承認書（様式L）の写しが添付されていることを確認の上、受理すること。

ロ 出願書類を受理した全国募集実施高等学校においては、受験番号を付した受験票を交付する。

(5) 出願者は、中学校長から受験票を受け取る。

7 出願期間

出願受付期間は、2月14日（火）から2月17日（金）までとする。

受付時間は、午前9時から午後4時までとし、締切日の2月17日（金）は午前11時までとする（郵送する場合であっても、2月17日（金）午前11時までに必着のこと。）。

8 出願者数等の報告

全国募集実施高等学校長は、2月17日（金）午前11時の出願締切後直ちに、全国募集選抜出願者数等（学科別）を県教育長（高校教育課教育指導第二班宛て）に電子メールで報告する。

9 学力検査及び面接

- (1) 学力検査は、3月6日（月）に全国募集実施高等学校において実施する。
- (2) 学力検査を実施する教科は、国語、数学、社会、英語及び理科とする。
- (3) 学力検査の日程は、次の表のとおりとする。

時間 月 日	8:30	9:05	9:55	10:15	11:05	11:25	12:15	13:00	13:50	14:10	15:00
3月6日(月)	受付確認 諸注意	[1] 国語		[2] 数学		[3] 社会	昼食 休憩	[4] 英語		[5] 理科	

- (4) 学力検査を受ける際、分度器（分度器機能付きの定規を含む）の使用や計算、翻訳、辞書、通信等の機能を有する機器類（スマートフォン・スマートウォッチ等を含む）の使用は認めない。その他、アラーム音を発するなど検査の公正を欠くおそれのある物も同様とする。指示に従わない場合は不正行為とみなす。
- (5) 面接は3月6日（月）の学力検査終了後に全国募集実施高等学校において実施する。
- (6) 面接の実施時間等については全国募集実施高等学校で定め、受験票交付時に当該高等学校長から中学校長を通じて、受験者に通知する。
- (7) 面接は、提出された志願理由書に基づいて複数の担当者で実施する。実施に当たっては、客観的かつ公平であるよう考慮すること。

10 選抜

- (1) 全国募集実施高等学校は、調査書、学力検査及び面接の結果等に基づいて総合的に審査し、選抜する。
- (2) 全国募集実施高等学校長は、第一次募集及び連携型選抜による県内中学生の合格者の数が、あらかじめ定めた第一次募集及び連携型選抜による募集人数に満たない場合、当該募集人数から当該合格者の数を減じた人数を全国募集選抜の募集人数に加えて合格させることができる。

11 合格者の発表

合格者の発表は、3月16日（木）午後3時に全国募集実施高等学校において行う。

全国募集実施高等学校長は、選抜の結果を全国募集選抜結果通知書（様式G）及び合格通知書（様式H）により中学校長に通知する。

12 合格者数等の報告

- (1) 全国募集実施高等学校長は、合格者決定後、3月16日（木）正午までに合格者数等（学科別）を県教育長（高校教育課教育指導第二班宛て）に電子メールで報告する。
- (2) 全国募集実施高等学校長は、3月24日（金）までに検査等の実施状況を県教育長（高校教育課教育指導第二班宛て）に報告する。

Ⅸ 通信制課程

第1 通信制課程の入学者選抜の実施

通信制高等学校（美田園高等学校）は一期入学者選抜及び二期入学者選抜を実施する。

第2 一期入学者選抜（令和5年春募集）

1 募集人数

一期入学者選抜の募集人数は、募集定員の90%とする。

2 出願資格

「Ⅰ 募集及び出願」の「2 出願資格」（4頁）による。ただし、第一次募集、社会人特別選抜及び連携型選抜のいずれかに合格した者は出願することができない。

3 出願制限

- (1) 第一次募集に出願中の者は合否が確定するまで出願することができない。
- (2) 第二次募集との併願はできない。

4 出願手続

(1) 出願書類

イ 志願者が用意するもの

① 入学願書及び写真票（美田園高等学校で定める様式）

入学願書には、入学者選抜手数料として、宮城県収入証紙（通信制課程200円）を貼付すること。ただし、収入証紙に消印、割印しないこと。

② 志願理由書（美田園高等学校で定める様式）

③ 受験票等送付用封筒 1通

長形3号封筒に、簡易書留速達郵便料金分の切手を貼付し、志願者の氏名、住所、郵便番号等を明記したもの。ただし、受験票の郵送を希望する場合のみ提出すること。

④ 結果通知用封筒 1通

角形2号封筒に、簡易書留速達郵便料金分の切手を貼付し、志願者の氏名、住所、郵便番号等を明記したもの

⑤ 中学校用結果通知用封筒 1通

長形3号封筒に、簡易書留速達郵便料金分の切手を貼付し、中学校の校長名、住所、郵便番号等を明記したもの

ロ 中学校が用意するもの

⑥ 調査書（様式B）（中学校長が作成し厳封したもの）

調査書の記載内容等について特別な事情がある場合は、副申書を添付することができる。

なお、平成29年3月末日までに中学校を卒業した者については、卒業証明書をもって調査書に代えることができる。

(2) 出願書類の提出方法

志願者は、上記(1)の①～⑥を高等学校長に直接提出し、受験票の交付を受ける。

なお、出願書類の提出をやむを得ず郵送により行う場合は簡易書留とし、封筒に「入学願書在中」と朱書すること。

(注意) 上記(1)の①～⑥の出願書類（貼付の宮城県収入証紙のほか、返信用の切手も含む。）は、高等学校においていったん受理した後は、出願期間内であっても返還しないので注意すること。

(3) 出願受付

出願書類を受理した高等学校においては、受験番号を付した受験票を交付する。

5 出願期間

出願受付期間は3月13日（月）から3月20日（月）までとする。（ただし3月18日（土）は除く。）

受付時間は、午前9時から午後4時までとし、締切日の3月20日（月）は午前11時までとする（郵送する場合であっても、3月20日（月）午前11時までに必着のこと。）。

6 面接

(1) 実施日時

3月22日（水）、3月23日（木）、3月24日（金）の3日間のうち、高等学校長が指定した日時で行うこととし、出願後、高等学校長から本人に直接通知する。

(2) 実施に当たっての留意事項

イ 面接の内容及び時間については、適切なものとなるよう考慮すること。

ロ 面接は、複数の担当者で実施し、実施に当たっては、客観的かつ公平であるよう考慮すること。

7 選抜

選抜は、書類及び面接の結果に基づく総合的な審査により行う。

8 結果の通知

高等学校長は、選抜の結果を、直接本人に通知する（3月27日（月）に郵便で発送する。）。また、中学校長には、結果通知書の写しを送付する。

9 その他

入学願書及び写真票、志願理由書、入学案内等は、実施校において配付する。

第3 二期入学者選抜（令和5年秋募集）

1 募集人数

二期入学者選抜の募集人数は、募集定員の10%とする。

なお、「IX 通信制課程」の「第2 一期入学者選抜（令和5年春募集）」による入学者が一期入学者選抜の募集人数に満たない場合には、一期入学者選抜の募集人数から一期入学者選抜の合格者数を減じた数を二期入学者選抜の募集人数に加えることができる。

2 出願資格

「I 募集及び出願」の「2 出願資格」（4頁）による。

3 出願手続

(1) 出願書類

イ 志願者が用意するもの

① 入学願書及び写真票（美田園高等学校で定める様式）

入学願書には、入学者選抜手数料として、宮城県収入証紙（通信制課程200円）を貼付すること。ただし、収入証紙に消印、割印しないこと。

② 志願理由書（美田園高等学校で定める様式）

③ 受験票等送付用封筒 1通

長形3号封筒に、簡易書留速達郵便料金分の切手を貼付し、志願者の氏名、住所、郵便番号等を明記したもの。ただし、受験票の郵送を希望する場合のみ提出すること。

④ 結果通知用封筒 1通

角形2号封筒に、簡易書留速達郵便料金分の切手を貼付し、志願者の氏名、住所、郵便番号等を明記したもの

⑤ 中学校用結果通知用封筒 1通

長形3号封筒に、簡易書留速達郵便料金分の切手を貼付し、中学校の校長名、住所、郵便番号等を明記したもの

ロ 中学校が用意するもの

⑥ 調査書（様式B）（中学校長が作成し厳封したもの）

調査書の記載内容等について特別な事情がある場合は、副申書を添付することができる。

なお、平成30年3月末日までに中学校を卒業した者については、卒業証明書をもって調査書に代えることができる。

(2) 出願書類の提出方法

志願者は、上記(1)の①～⑥を高等学校長に直接提出し、受験票の交付を受ける。

なお、出願書類の提出をやむを得ず郵送により行う場合は簡易書留とし、封筒に「入学願書在中」と朱書すること。

(注意) 上記(1)の①～⑥の出願書類(貼付の宮城県収入証紙のほか、返信用の切手も含む。)は、高等学校においていったん受理した後は、出願期間内であっても返還しないので注意すること。

(3) 出願受付

出願書類を受理した高等学校においては、受験番号を付した受験票を交付する。

4 出願期間

出願受付期間は令和5年9月4日(月)から9月8日(金)までとする。

受付時間は、午前9時から午後4時までとし、締切日の9月8日(金)は午前11時までとする(郵送する場合であっても、9月8日(金)午前11時までに必着のこと。)

5 面接

(1) 実施日時

9月12日(火)、9月13日(水)、9月14日(木)の3日間のうち、高等学校長が指定した日時で行うこととし、出願後、高等学校長から本人に直接通知する。

(2) 実施に当たっての留意事項

イ 面接の内容及び時間については、適切なものとなるよう考慮すること。

ロ 面接は、複数の担当者で実施し、実施に当たっては、客観的かつ公平であるよう配慮すること。

6 選抜

選抜は、書類及び面接の結果に基づく総合的な審査により行う。

7 結果の通知

高等学校長は、選抜の結果を、直接本人に通知する(9月15日(金)に郵便で発送する。)。また、中学校長には、結果通知書の写しを送付する。

8 その他

入学願書及び写真票、志願理由書、入学案内等は、実施校において配付する。

X その他

1 学力検査及び面接等の実施上、配慮を要する者の取扱い

- (1) 中学校長は、身体上的なこと等で特に配慮を要する者及び海外帰国者等で配慮を要する者の学力検査及び面接等については、事前に志願する高等学校長と電話等で連絡・調整の上、令和5年1月以降のできるだけ早い時期に、高等学校長に**受験上の配慮申請書（様式P）**により申請する。
- (2) **受験上の配慮申請書（様式P）**を受理した高等学校においては、所属教育委員会教育長と事前に協議の上、配慮することが妥当であることを認めた場合、配慮の内容を当該中学校長に**受験上の配慮通知（様式Q）**により通知する。
- (3) 海外帰国者等で配慮を要する者については、「7 海外帰国者等の取扱いに関する留意事項」（36頁）による。

2 進路指導と助言

- (1) 専門学科において、当該学科の教育課程を履修することが身体上的ことで極めて困難と認められる場合は、入学を許可しないことがある。
- (2) 中学校長は、身体上的なこと等で志望学科又は卒業後の進路について相談する必要がある生徒について、あらかじめ関係高等学校長の助言を得るなど適切な進路指導を行う。
- (3) 高等学校長は、身体上的なこと等で志望学科又は卒業後の進路について、中学校長から相談を受けた場合は、必要な助言を行う。

3 特別な事情を有する生徒の副申書に関する取扱い

中学校長は、心理的なこと、情緒的なこと、身体的なことなど特別な事情を有する生徒について副申書を添付するときは、進学後の参考となる事柄について記載する。
高等学校長は、副申書の記載内容について特に配慮することができる。

4 不正行為の扱い

不正行為を行った者については、選抜の対象から除かれる場合がある。

5 合格した生徒の生徒指導要録抄本等の送付

中学校長は、入学者選抜で合格した生徒の指導要録抄本又は原本の写し、児童生徒健康診断票（一般）及び児童生徒健康診断票（歯・口腔）等を当該高等学校長に**3月27日（月）**までに親展扱いにて持参又は簡易書留で送付すること。ただし、通信制課程に関する選抜で合格した生徒については、**合格が確認でき次第直ちに送付すること。**

なお、児童生徒健康診断票は中学校在籍期間について記載されたものに限る。また、平成29年

3月末日までに中学校を卒業した者については、児童生徒健康診断票の送付は不要とする。

6 入学者選抜に係る検査の得点の開示

開示を希望する受験生等は、受験した高等学校に直接申し出ること。開示の方法及び期間等については別に通知する。

7 海外帰国者等の取扱いに関する留意事項

海外帰国者等の選抜については弾力的に対応するため、次の諸点に留意して事務処理に当たること。

(1) 「海外帰国者等」とは、次の者をいう。

イ 海外帰国者

出願時において、海外滞在が1年以上で、帰国後3年未満の者

ロ 中国残留孤児の子

ハ 日本在留外国人の子

「家族滞在」等の在留資格で県内に居住又は居住予定の者

(2) 「弾力的に対応する」とは、次のような配慮をすることであり、高等学校長はこれらを必要に応じて行うことができる。

イ 学力検査及び面接等の実施の参考とするため、事前に面接、作文等を行い、日本語の能力をみること。

ロ イの結果などにより、学力検査において、教科数を減じたり、個々の日本語の能力に応じて実施時間を延長したりすること。

ハ その他選抜において、特に必要なことについて配慮すること。

(3) 出願資格等について疑義がある場合は、県教育庁高校教育課教育指導第二班、仙台市教育局学校教育課高校教育課又は石巻市教育委員会学校教育課に照会すること。

出願書類

○は必須、△は必要に応じて提出する書類

	書 類	第 一 次 募 集	第 二 次 募 集	連 携 型 選 抜	社 会 人 特 別	全 国 募 集 選 抜	通 信 制 課 程	備 考
志 願 者	入学願書及び写真票	○	○	○	○	○	○	宮城県収入証紙，仙台市納入通知書兼領収書 又は石巻市納入通知書兼領収証書貼付
	志願理由書	—	—	—	—	○	—	全国募集選抜用の様式
	志願理由書	—	—	—	—	—	○	美田園高等学校で定める様式
	推薦書	—	—	—	○	—	—	社会人特別選抜志願者の所属長等が作成
	受験票等送付用封筒	—	—	—	○	—	△	長形3号封筒（簡易書留速達郵便料金分の切手貼付）住所，志願者氏名等を明記
	結果通知用封筒	—	—	—	○	—	○	角形2号封筒（簡易書留速達郵便料金分の切手貼付）住所，志願者氏名等を明記
	中学校用結果通知用封筒	—	—	—	—	—	○	長形3号封筒（簡易書留速達郵便料金分の切手貼付）住所，中学校長名等を明記
中 学 校 長	調査書	○	○	○	○	○	○	
	出願者一覧表	○	○	○	—	○	—	
	受験票等送付用封筒	△	△	△	—	△	—	角形2号封筒又は長形3号封筒（簡易書留速達郵便料金分の切手貼付）住所，中学校長名等を明記
	結果通知用封筒	△	△	○	—	△	—	角形2号封筒（簡易書留速達郵便料金分の切手貼付）住所，中学校長名等を明記

※ 社会人特別選抜の出願においては，受験票等送付用封筒，結果通知用封筒を各2通準備し，宛名はそれぞれ所属長等及び中学校長とする。

※ 県外からの出願及び全国募集選抜の出願においては，宮城県公立高等学校出願承認書の写しを同封すること。

【参考】郵便料金

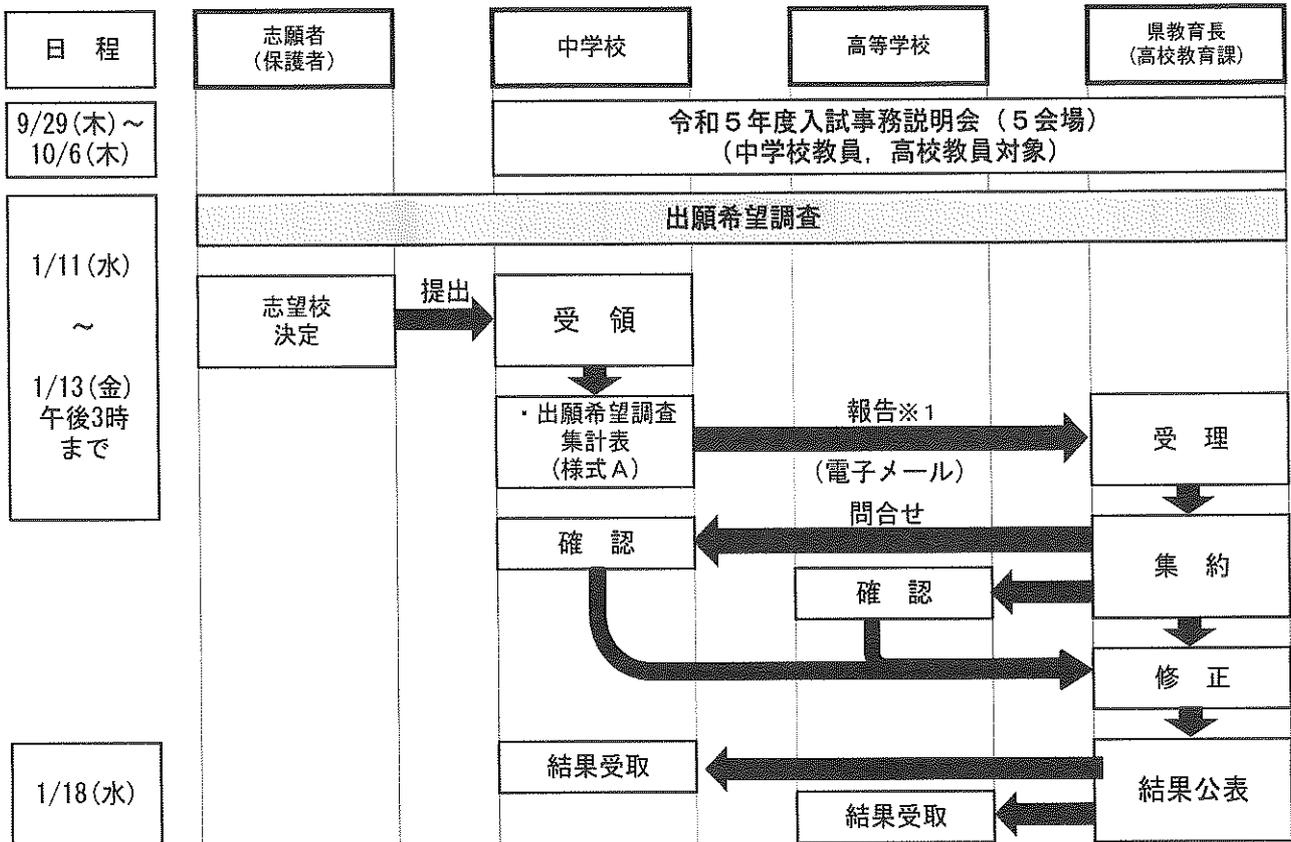
基本料金			速達	簡易書留	合計
郵便物	重量	料金			
定形郵便物	25g以内	84円	260円 (250gまで)	320円	664円
	50g以内	94円			674円
定形外郵便物	50g以内	120円			700円
	100g以内	140円			720円
	150g以内	210円			790円
	250g以内	250円			830円

(例1) 角形2号封筒 ……約 25g
 受験票 (10枚) ……約 25g
 A4判普通紙 (10枚) ……約 55g 計 約105g → 簡易書留速達料金 790円

(例2) 長形3号封筒 ……約 10g
 受験票 (20枚) ……約 50g
 A4判普通紙 (20枚) ……約110g 計 約170g → 簡易書留速達料金 830円

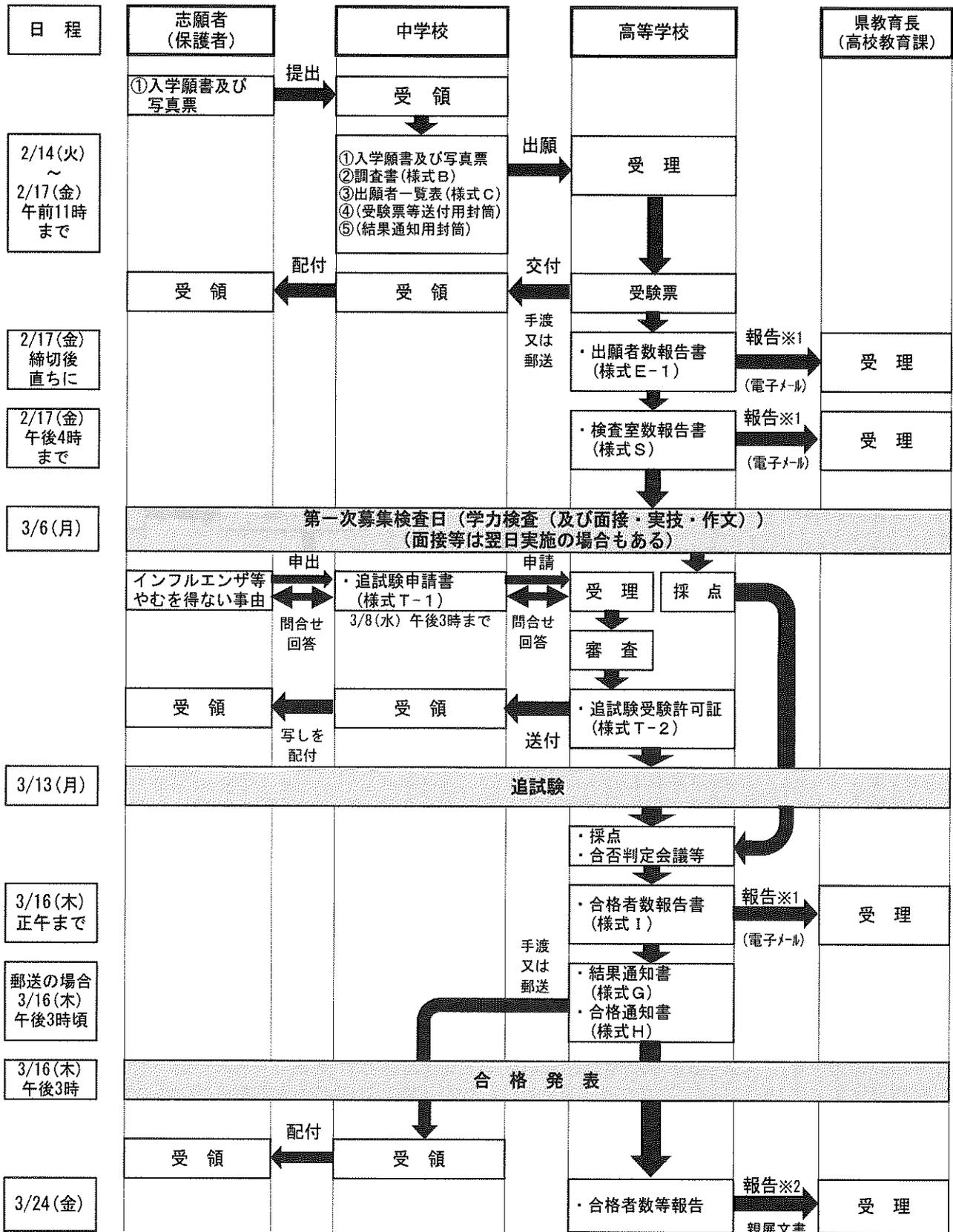
【入試のフロー図（概要）】

◆出願希望調査までの流れ



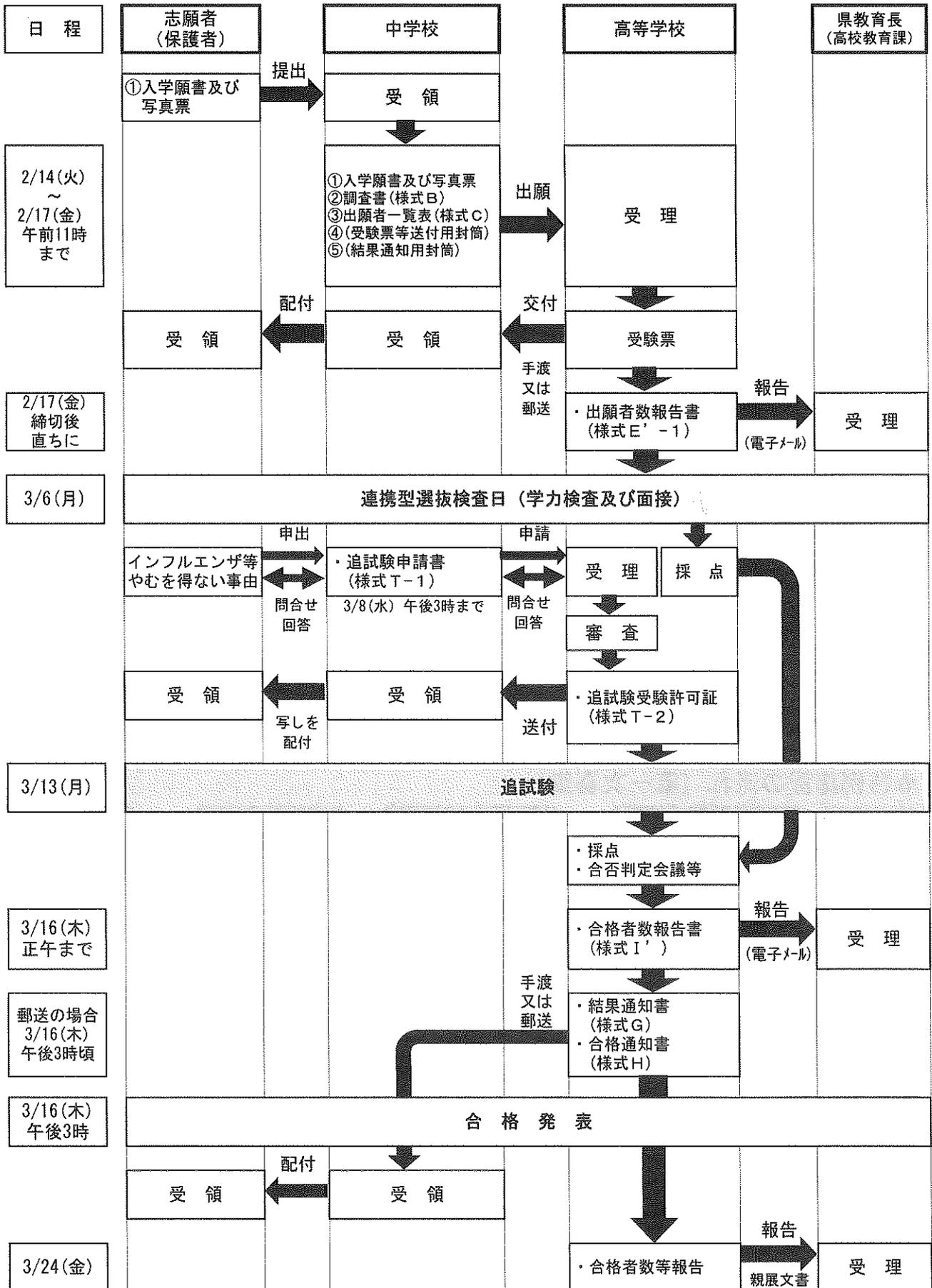
※1 仙台市立中学校にあっては、仙台市教育委員会教育長を経て県教育長に報告する。

◆第一次募集の流れ

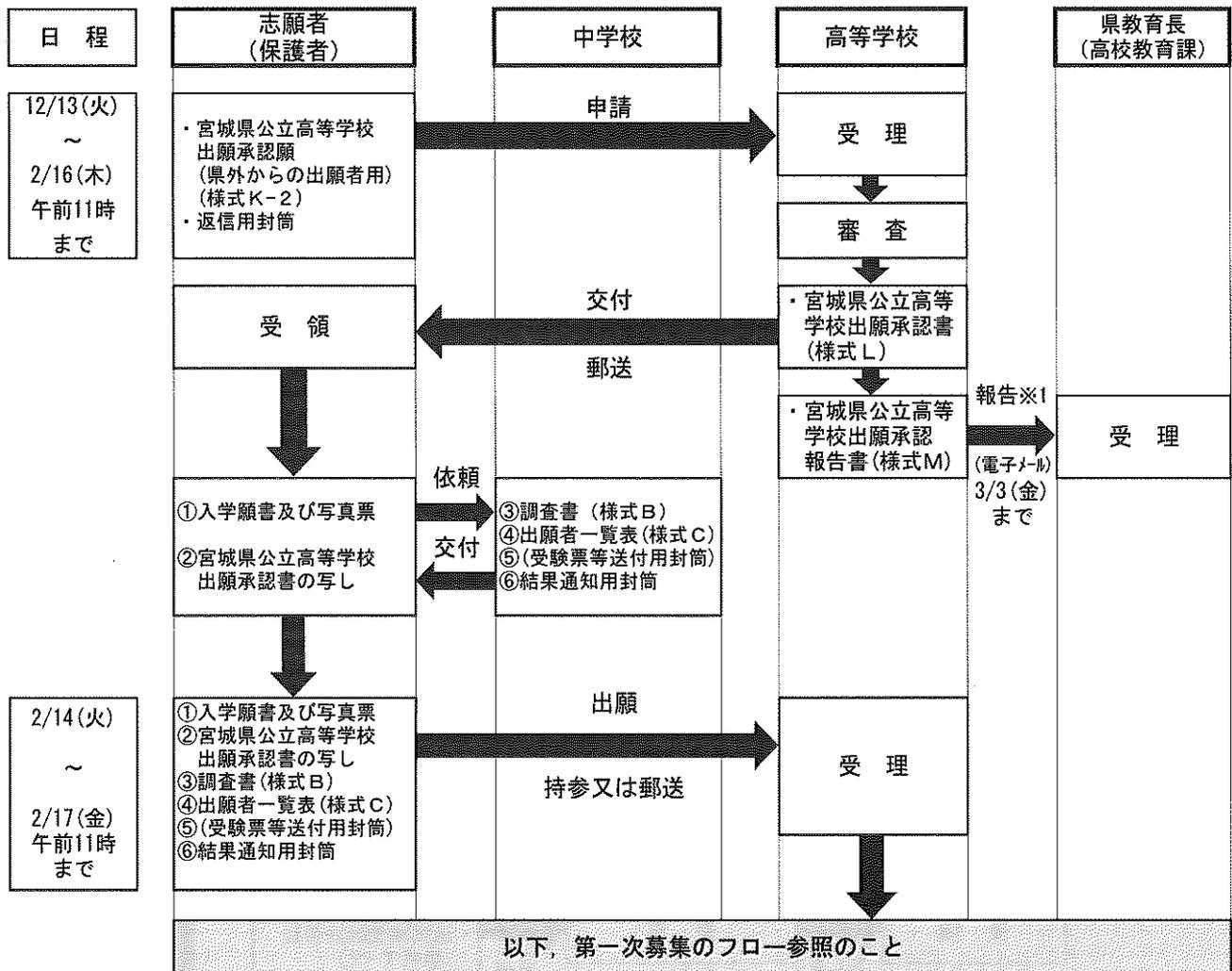


※1 市立高等学校にあっては、所属教育委員会教育長を経て県教育長に報告する。
 ※2 市立高等学校にあっては、所属教育委員会教育長へも報告する。

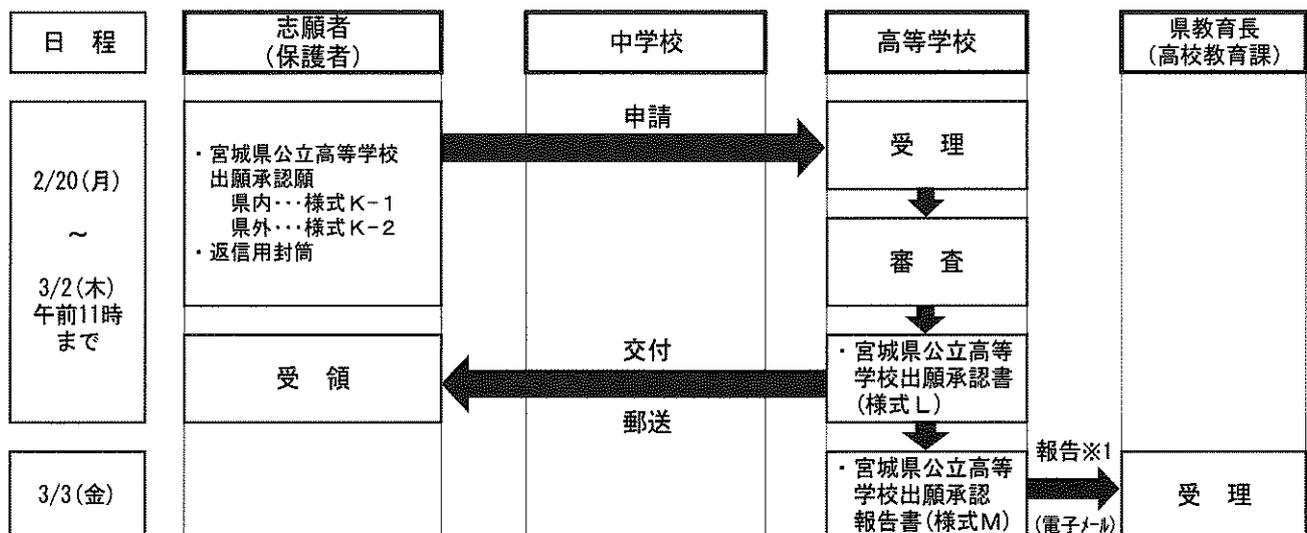
◆連携型選抜の流れ



◆ 県外からの出願の流れ

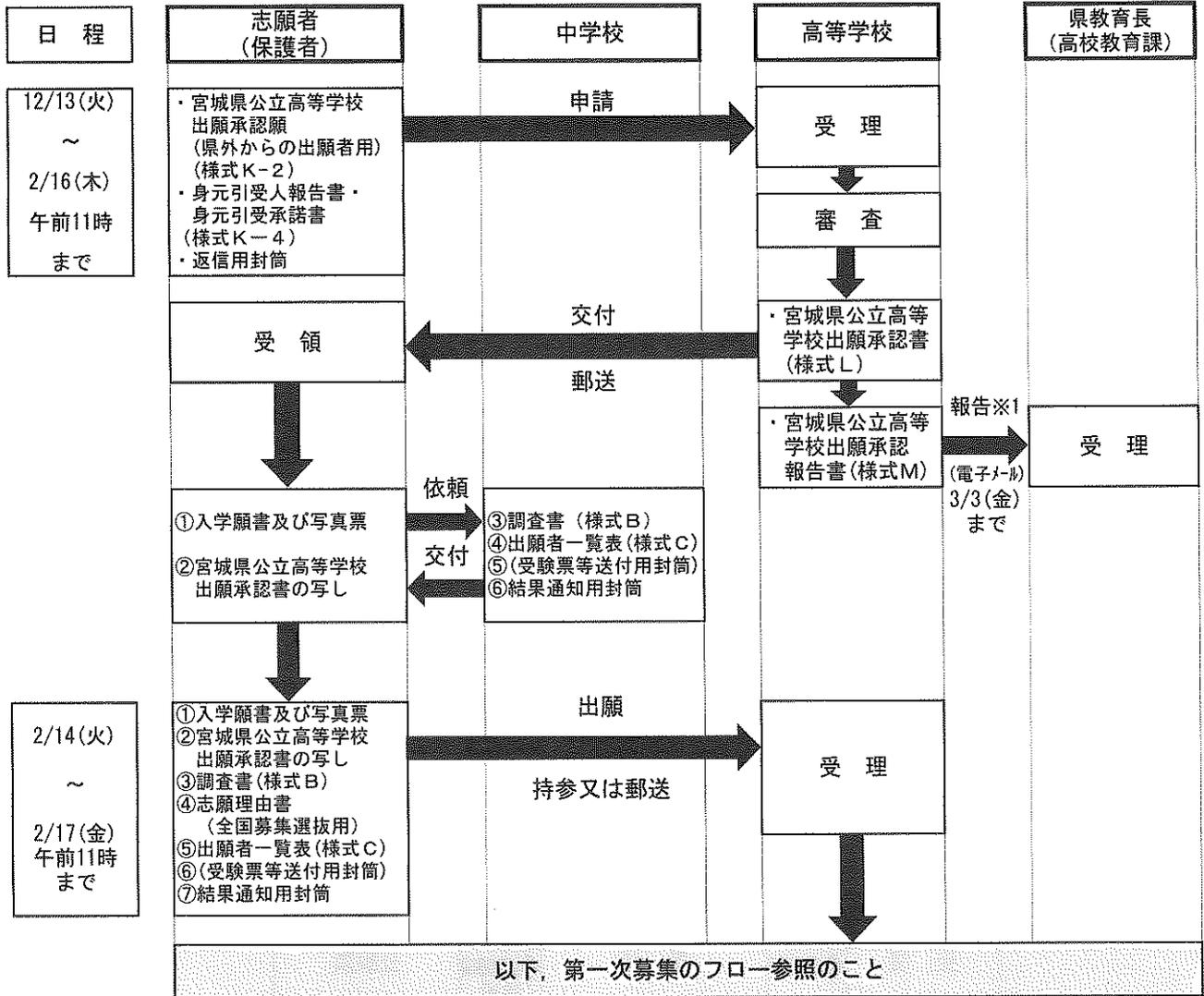


◆ 特例措置の流れ (第一次募集)

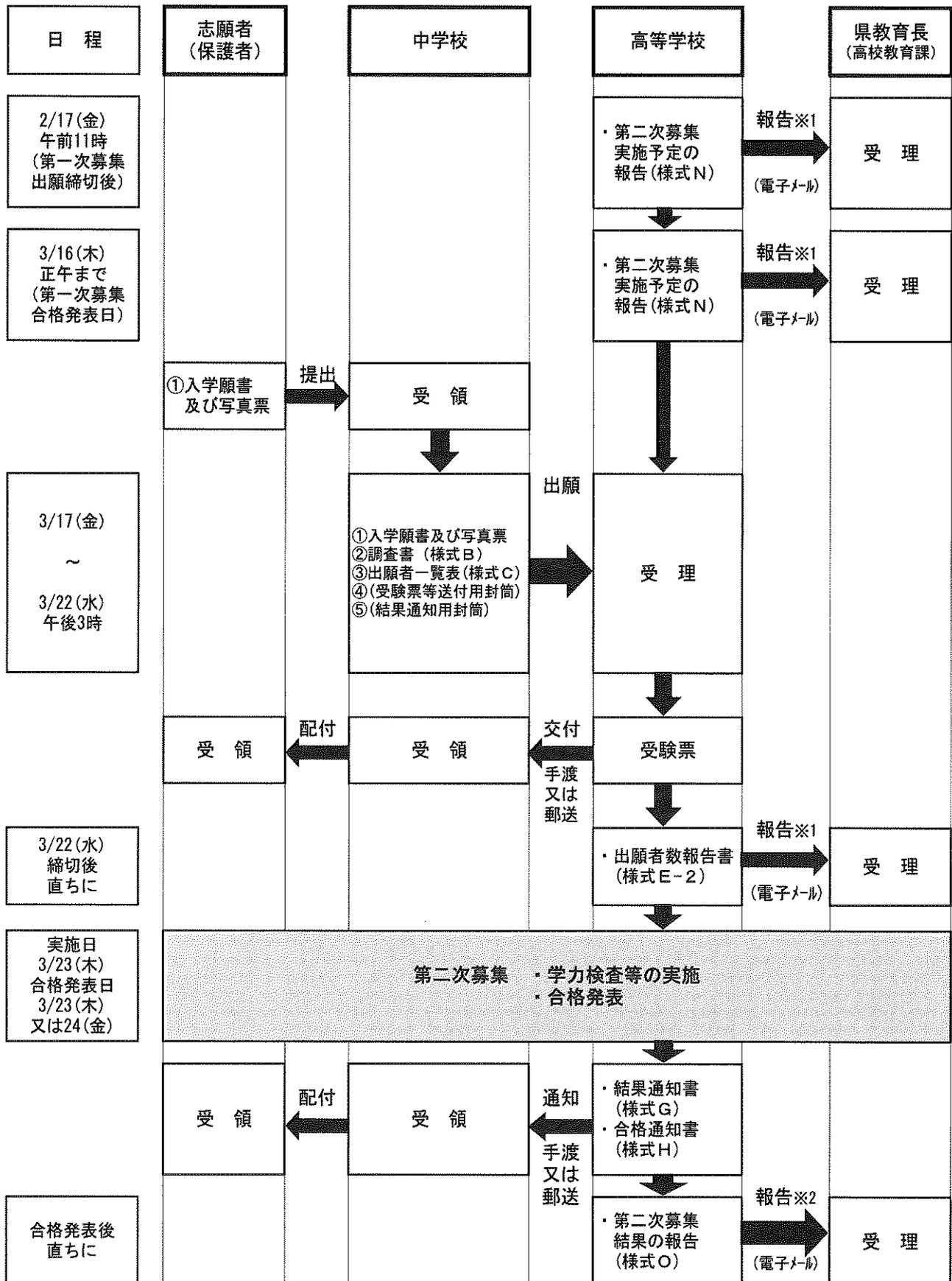


※1 市立高等学校にあっては、所属教育委員会教育長を経て県教育長に報告する。

◆全国募集選抜の出願の流れ



◆ 第二次募集の流れ



※1 市立高等学校にあっては、所属教育委員会教育長を経て県教育長に報告する。

※2 市立高等学校にあっては、所属教育委員会教育長へも報告する。

地区処理委員会

- 1 公立高等学校入学者選抜に係る事務を円滑に処理するため、地区処理委員会を下記の表のとおり設置する。
- 2 地区処理委員会は、次の事項を処理する。
 - (1) 県教育庁、各高等学校及び各中学校との連絡
 - (2) 学力検査問題等の受領、保管及び配付
 - (3) その他選抜事務に関する必要な事項
- 3 地区処理委員会は、各地区内の公立高等学校長をもって構成する。
- 4 地区処理委員会の事務局を、下表のとおり、各地区の高等学校に置く。
- 5 地区処理委員会の委員長は、事務局所在の高等学校長とする。

地 区 処 理 委 員 会		事務局校
刈田柴田地区	白石、蔵王、白石工業、村田、大河原産業、柴田、柴田農林川崎	白石 7
伊具地区	角田、伊具	角田 2
亘理名取地区	名取、名取北、亘理、農業	名取 4
仙台南地区	仙台一、仙台二華、仙台三桜、仙台向山、仙台南、仙台西、 仙台東、工業、第二工業、仙台工業※、仙台大志※	仙台一 1 1
仙台北地区	仙台二、仙台三、宮城一、宮城広瀬、泉、泉松陵、泉館山、 宮城野、仙台※、仙台商業※	仙台二 1 0
塩釜地区	塩釜、多賀城、松島、利府、貞山	塩釜 5
黒川地区	黒川、富谷	黒川 2
大崎地区	古川、古川黎明、岩出山、中新田、松山、加美農業、 古川工業、鹿島台商業	古川 8
遠田地区	涌谷、小牛田農林、南郷、田尻さくら	涌谷 4
登米地区	佐沼、登米、登米総合産業	佐沼 3
栗原地区	築館、岩ヶ崎、迫桜、一迫商業	築館 4
石巻地区	石巻、石巻好文館、石巻西、石巻北、水産、石巻工業、 石巻商業、東松島、桜坂※	石巻 9
本吉地区	気仙沼、南三陸、本吉響、気仙沼向洋	気仙沼 4

※は市立高等学校

各種様式一覧

※ 電子データで報告する様式については、後日送付する様式を参考に作成すること。

事項	本文ページ	参照ページ		書 類 名	報告者又は送付者	経由等	最終報告先又は送付先	締切日等	
		記 号	ページ						
出 願 希 望 調 査 の 集 計	6	A	47	出願希望調査集計表	中学校長	仙台市立中学校にあっては仙台市教育委員会教育長	県教育庁 高校教育課長	1月13日(金) 午後3時	
第 一 次 募 集	第 一 次 募 集 出 願 手 続	8	願書	63	入学願書及び写真票	志願者	中学校長	高等学校長	
	"	8	B	67	調査書	中学校長		高等学校長	
	"	8	C	48	出願者一覧表	中学校長		高等学校長	
	追 試 験 受 験 申 請	11	T-1	61	追試験申請書	中学校長		高等学校長	
	追 試 験 受 験 許 可	11	T-2	62	追試験受験許可証	高等学校長		中学校長	
	第 一 次 募 集 結 果 通 知	12	G	51	第一次募集結果通知書	高等学校長		中学校長	
"	12	H	52	合格通知書	高等学校長	中学校長	合格者	3月16日(木) 午後3時	
第 二 次 募 集	第 二 次 募 集 出 願 手 続	15	願書	63	入学願書及び写真票	志願者	中学校長	高等学校長	
	"	15	B	67	調査書	中学校長		高等学校長	
	"	16	C	48	出願者一覧表	中学校長		高等学校長	
	第 二 次 募 集 結 果 通 知	17	G	51	第二次募集結果通知書	高等学校長		中学校長	
"	17	H	52	合格通知書	高等学校長	中学校長	合格者	合格発表後 速やかに	
連 携 型 選 抜	連 携 型 選 抜 出 願 手 続	18	願書	65	入学願書(連携型選抜)及び写真票	志願者	中学校長	高等学校長	
	"	18	B	67	調査書	中学校長		高等学校長	
	"	18	C	48	出願者一覧表	中学校長		高等学校長	
	連 携 型 選 抜 結 果 通 知	20	G	51	連携型選抜結果通知書	高等学校長		中学校長	
	"	20	H	52	合格通知書	高等学校長	中学校長	合格者	3月16日(木) 午後3時
全 国 募 集 選 抜	全 国 募 集 に 係 る 身 元 引 受 入 の 報 告 ・ 承 諾	27	K-4	56	身元引受人報告書・身元引受承諾書 (全国募集選抜の出願者用)	志願者		高等学校長	出願承認申請時に提出
	全 国 募 集 選 抜 の 出 願 承 認	27	K-2	55	宮城県公立高等学校出願承認願 (県外からの出願者用)	志願者		高等学校長	2月16日(木) 午前11時
	"	28	L	57	宮城県公立高等学校出願承認書	高等学校長		志願者	受理・審査後
	全 国 募 集 選 抜 出 願 手 続	28	願書	63	入学願書及び写真票	志願者	中学校長	高等学校長	
	"	28	B	67	調査書	中学校長		高等学校長	2月17日(金) 午前11時
	"	29	C	48	出願者一覧表	中学校長		高等学校長	
全 国 募 集 選 抜 結 果 通 知	30	G	51	全国募集選抜結果通知書	高等学校長		中学校長	3月16日(木) 午後3時	
"	30	H	52	合格通知書	高等学校長	中学校長	合格者		
社 会 人 特 別 選 抜	社 会 人 特 別 選 抜 出 願 手 続	21	願書	63	入学願書及び写真票	志願者	所属長等	高等学校長	
	"	22	J	53	社会人特別選抜推薦書	所属長等		高等学校長	2月17日(金) 午前11時
	"	22	B	67	調査書	中学校長		高等学校長	
	出 願 書 類 受 領	22	D	49	出願書類受領書	高等学校長		所属長等	受理後
	受 験 資 格 の 確 認	23	F	50	受験票送付一覧	高等学校長		所属長等 写しを中学校長	2月24日(金) 午前11時までに発送
	社 会 人 特 別 選 抜 結 果 通 知 書	23	G	51	社会人特別選抜結果通知書	高等学校長		所属長等 写しを中学校長	3月16日(木) 午後3時
"	23	H	52	合格通知書	高等学校長	所属長等	合格者		
特 別 措 置 に よ る 出 願	県 内 特 例 措 置 出 願	13	K-1	54	宮城県公立高等学校出願承認願 (県内の特別措置による出願者用)	志願者		高等学校長	3月2日(木)正午
	県 外 か ら の 出 願	24	K-2	55	宮城県公立高等学校出願承認願 (県外からの出願者用)	志願者		高等学校長	2月16日(木) 午前11時
	東 日 本 大 震 災 の 被災 に 伴 う 区 域 外 就 学 者 の 受 験 に 係 る 措 置 に よ る 出 願	74	K-3	76	宮城県公立高等学校出願承認願 (東日本大震災の被災に伴う区域外就学者の受験に係る措置による出願者用)	志願者		高等学校長	出願時に提出
	県 内 特 例 措 置 及 び 県 外 か ら の 出 願	13 24	L	57	宮城県公立高等学校出願承認書	高等学校長		志願者	受理・審査後
受 験 上 の 配 慮	受 験 上 の 特 別 配 慮	35	P	59	受験上の配慮申請書	中学校長		高等学校長	1月以降のできるだけ早い時期
	"	35	Q	60	受験上の配慮通知	高等学校長		中学校長	受理・審査後
そ の 他 報 告 様 式	出 願 者 数 報 告	9	E-1		第一次募集出願者数の報告	高等学校長		県教育庁 高校教育課長	出願締切後直ちに
	"	19	E'-1		連携型選抜出願者数の報告	高等学校長		県教育庁 高校教育課長	出願締切後直ちに
	"	17	E-2		第二次募集出願者数の報告	高等学校長		県教育庁 高校教育課長	出願締切後直ちに
	合 格 者 数 報 告	12	I		第一次募集合格者数報告	高等学校長		県教育庁 高校教育課長	3月16日(木)正午
	"	20	I'		連携型選抜合格者数報告	高等学校長		県教育庁 高校教育課長	3月16日(木)正午
	出 願 承 認 報 告	13, 25 26	M		宮城県公立高等学校出願承認報告書	高等学校長		県教育庁 高校教育課長	3月3日(金)
	第 二 次 募 集 予 定 報 告	14	N		第二次募集実施予定報告	高等学校長		県教育庁 高校教育課長	①2月17日(金)出願締切後直ちに ②2月18日(木)正午
	第 二 次 募 集 結 果 報 告	17	O		第二次募集結果の報告	高等学校長		県教育庁 高校教育課長	合格発表後直ちに
	採 点 日 調 査		R		入試採点日調査	高等学校長		県教育庁 高校教育課長	後日通知する
検 査 室 数 報 告		S		検査室数報告書	高等学校長		県教育庁 高校教育課長	後日通知する	

市立高等学校にあっては所属教育委員会教育長を経て県教育長に報告する。
要項に掲載されていない様式については後日通知する。

凡 例

様式の中で使う略称とその意味については以下のとおりである。

県外	県外からの出願を承認された者が出願することをいう。
全国	全国募集選抜に出願することをいう。
海外	海外帰国者等が出願することをいう。
過卒	過年度卒業生が出願することをいう。
県境	県境隣接地域県立高等学校入学志願取扱協定により出願することをいう。
特支	特別支援学級在籍者が出願することをいう。
社会人	社会人特別選抜に出願することをいう。
連携	連携型選抜に出願することをいう。
区域外	東日本大震災の被災に伴う区域外就学者の受験に係る措置により出願することをいう。

様式記入の一般的注意

- 1 各学校・学科・コースにおいて記入の必要のない欄には斜線又は*を付す。
- 2 各学校・学科・コースにおいて該当する者がいない場合、その欄には「0」と記入する。
- 3 貞山高等学校については、コースの欄に昼間部・夜間部の別を記入する。
- 4 東松島高等学校については、コースの欄にⅠ部・Ⅱ部・Ⅲ部の別を記入する。
- 5 田尻さくら高等学校については、コースの欄にⅠ部・Ⅱ部の別を記入する。
- 6 仙台大志高等学校については、コースの欄にⅠ部・Ⅱ部の別を記入する。

様式 A

メール施行 (様式A) 出願希望調査集計表 令和 5 年 1 月 日

宮城県教育庁高校教育課長 殿

中学校長

※ の箇所に入力すること
 ※すべての入力完了後に「入力チェック」ボタンを押し、
 エラーが出た場合は修正し、再度ボタンを押すこと

入力チェック

<チェック結果>

中学校番号入力	
日付・中学校名・担当者職氏名	
在籍生徒数・過年度卒業生数	
合計数と在籍数+過卒数一致	
過卒合計数と過卒数一致	

	計
在籍生徒数	
過年度卒業生数	

※該当者がいない場合は、0(ゼロ)を入力

学校名	学科・コース	令和5年度 募集定員	志願者数	左記志願者数のうち	
				県境	過卒
1 白石	普通科	240			
	看護科	40			
2 蔵王	普通科	80			
	機械科	80			
3 白石工	電気科	40			
	工業化学科	40			
	建築科	40			
	設備工業科	40			

12 仙台工※	建築土木科 / 夜 ◎	40			
	機械科 / 夜 ◎	40			
定 時 制 合 計		960	0	0	0
通信制 (美田園)					
特別支援学校高等部					
国立高等専門学校					
私立高校 (専願・推薦を含む)					
中等教育学校					
各種学校等					
就職及び家業 (家事)					
【 県 外 】	進学 (就職進学を含む)				
	就職				
合 計			0	0	0

- <注> 1 在籍生徒数には特別支援学級在籍生徒数を含めた第3学年生徒全員の数を入力すること。
 2 第3学年生徒全員と県内進学を希望する過年度卒業生を対象に第1希望で集計のこと。
 したがって、例えば私立高等学校を併願する公立高等学校志願者であっても、私立高等学校を第1希望とするものについては、「私立高校」の欄に入力すること。
 3 「中学校番号」は、県教育庁高校教育課から別途送付する中学校番号表を参照すること。
 4 「各種学校等」とは、専修学校、各種学校及び文部科学省以外が所管する学校（職業訓練校など）をいう。
 5 「合計」は「在籍生徒数」と「過年度卒業生数」を加えた数となる。
 なお、社会人など中学校が把握できない者は「過年度卒業生」に含めなくともよい。

様式B (調査書) は、67頁参照のこと。

様式 C

(/ 中)

第一次募集
 連携型選抜
 全国募集選抜
 第二次募集

出 願 者 一 覧 表

令和 年 月 日
 ○○中学校長 氏 名 印

志願高等学校名	高等学校 (校)	課程別	全日制・定時制	
出 願 者 数	名			
受 付 番 号*	志 望 学 科 名 (コース)	氏 名	満 年 齢 (4月1日現在)	備 考

- <注> 1 第一次募集・連携型選抜・全国募集選抜・第二次募集のいずれかを で囲むこと。
- 2 全日制・定時制のいずれかを で囲むこと。
- 3 全日制・定時制別、本校・分校別及び学科・コース別に作成し、枠外右上端「(/ 中)」には、各高等学校に提出する全ての用紙の枚数を分母にして、例えば、全3頁中の1頁目の場合は「(1/3中)」, 2頁目の場合は「(2/3中)」のように示すこと。
- 4 受付番号欄には、記入しないこと。
- 5 志望学科名(第2志望学科がある場合でも、第1志望学科名のみを記載すること。)は、普通科, 農業科, 電気科等と記入すること。
- 6 満年齢は令和5年4月1日現在で記入すること。
- 7 第一次募集, 連携型選抜, 全国募集選抜及び第二次募集の出願の際, それぞれ提出すること。
- 8 備考欄については, 下表により略記で記入すること。また, 第二次募集にあつては, 14頁の「3 出願資格」を参照し, (1)~(5)のうち該当する番号を記入すること。

出 願 等 の 種 類	略 記
県外からの出願	県 外
海外帰国者等の出願	海 外
過年度卒業生の出願	過 卒
県境隣接地域県立高等学校入学志願取扱協定に基づく出願	県 境
特別支援学級在籍者が出願	特 支
東日本大震災の被災に伴う区域外就学者の受験に係る措置による出願	区域外

様式 D (社会人特別選抜のみ)

令和 年 月 日

社会人特別選抜 出願書類受領書

(所属長) 殿

〇〇高等学校長 氏 名 印

下記の書類を受領しました。

- | | | | |
|---|-----------|---|---|
| 1 | 入学願書及び写真票 | … | 通 |
| 2 | 志願理由書 | … | 通 |
| 3 | 出願者一覧表 | … | 通 |
| 4 | 調査書 | … | 通 |
| 5 | 受験票等送付用封筒 | … | 通 |
| 6 | 結果通知用封筒 | … | 通 |

- <注> 1 社会人特別選抜においてのみ作成すること。
2 受領した書類の内訳については、提出書類に即して記載すること。

様式 F (社会人特別選抜のみ)

受験票送付一覧				
令和 年 月 日				
所属長 殿				
〇〇高等学校長 氏 名 印				
No.	学科 (コース)	受験番号	氏 名	備考

〈注〉 社会人特別選抜の場合に、所属長等に送付し、中学校長には写しを送付する。

様式 G (第一次募集, 連携型選抜, 全国募集選抜, 第二次募集, 社会人特別選抜)

第一次募集
 連携型選抜
 国募集選抜 結果通知書
 第二次募集
 社会人特別選抜

令和 年 月 日

〇〇中学校長 殿
 (所属長 殿)

〇〇高等学校長 氏 名 印

通し 番号	志望学科 (コース・部)	受験 番号	氏 名	志望学科の合否		第2志望 合格学科 (コース・部)
				合	否	
1						
2						

- <注> 1 志望学科 (コース・部) とは, 第1志望学科 (コース・部) をさす。
 2 社会人特別選抜の場合は, 所属長等に送付し, 中学校長には写しを送付する。
 3 欠席者 (受験を辞退した者を含む。) については一切記載しないこと。

合 格 通 知 書

受 験 番 号 _____

氏 名

あなたは, 令和 年度入学者選抜の結果, 本校 課程 科
(コース) に合格しましたので通知します。

令和 年 月 日

〇〇高等学校長 氏 名 印

社会人特別選抜 推薦書

令和 年 月 日

〇〇 高等学校長 殿

〇〇株式会社

代表取締役社長 氏 名 印

令和5年3月末で本社勤務満〇年〇月となる見込みの社員〇〇〇〇〇は、下記の「推薦理由」により、貴校 科 (部) への入学が適当と認められるので推薦いたします。

記

推 薦 理 由

<注> 推薦理由は、21頁の「2 出願資格」(2)を参照すること。

様式 K-1 (県内の特例措置による出願者用)

宮城県公立高等学校出願承認願 (県内の特例措置による出願者用) (特 例)

令和 年 月 日

〇〇高等学校長 殿

本人氏名
(本人署名又は記名押印)

保護者氏名
(本人署名又は記名押印)

下記のとおり、一家転住により出願先の変更を希望するので、承認くださるよう、お願いします。

記

本人	現住所	〒 ()				
	在学(出身)中学校	電話番号 () -				
	卒業見込(卒業)の年月	昭和 平成 令和	年	月	卒業見込・卒業	
	氏名					
	生年月日	昭和 平成	年	月	日生	年齢
保護者	現住所	〒 ()				
	氏名	電話番号 () -				
転居先住所						
変更後の出願先						
理由	----- ----- ----- -----					
学校所在地		〇〇中学校長 氏名			印	
上記のとおり相違ないことを証明します。						

- <注> 1 理由は具体的に記入すること。
 2 返信用封筒(長形3号封筒に、簡易書留速達郵便料金分の切手貼付、宛先明記)を同封すること。

様式 K-2 (県外からの出願者用)

宮城県公立高等学校出願承認願 (県外からの出願者用) ()

令和 年 月 日

〇〇高等学校長 殿

本人氏名
(本人署名又は記名押印)

保護者氏名
(本人署名又は記名押印)

下記のとおり、貴校に入学したいので、出願を承認くださるよう、お願いします。

記

本 人	現住所	〒 ()				
	在学(出身)中学校	電話番号 () -				
	卒業見込(卒業)の年月	昭和 平成 令和	年	月	卒業見込・卒業	
	氏名					
	生年月日	昭和 平成	年	月	日生	年齢 歳
保 護 者	現住所	〒 ()				
	氏名	電話番号 () -				
転居先住所						
理 由					
学校所在地		〇〇中学校長 氏名				印
上記のとおり相違ないこと及び貴県の公立高等学校以外の公立高等学校に出願しないことを証明します。						

- <注> 1 特例措置による出願の場合は、右上の () に特例と記入すること。
 2 全国募集選抜の出願の場合は、右上の () に全国と記入すること。
 3 理由は具体的に記入すること。
 4 返信用封筒 (長形3号封筒に、簡易書留速達郵便料金分の切手貼付、宛先明記) を同封すること。
 5 転居先住所については、「〇〇市に居住予定」等でも可とする。

身元引受人報告書

令和____年____月____日

宮城県_____高等学校長 殿

宮城県_____高等学校に入学した場合、その在学中、_____殿
が志願者の身元引受人となります。

志願者氏名 _____

保護者氏名 _____ 印

保護者住所 _____

※身元引受人を自治体に依頼する場合は、身元引受人氏名欄及び以下は空欄のまま提出すること

身元引受承諾書

志願者が、宮城県_____高等学校に入学した場合、その在学中、志願者の
身元引受人となることを承諾します。

令和____年____月____日

身元引受人氏名 _____ 印

身元引受人住所 _____

〇〇高等学校指令第		割印	号
宮城県公立高等学校出願承認書 ()			
令和 年 月 日付けで申請のあった下記の者の出願について、承認します。			
記			
1	氏名		
2	生年月日		
3	在学(出身)中学校		
4	志願高等学校名		
5	理由		
6	転居先住所		
	令和 年 月 日	〇〇高等学校長	氏名印

- <注> 1 特例措置による出願の場合は、右上の()に特例と記入すること。
2 全国募集選抜の出願の場合は、右上の()に全国と記入すること。
3 理由は、簡潔に記入すること。

受験番号 ※

志 願 理 由 書 (全国募集選抜用)

中学校名 _____ 立 _____ 中学校
年 _____ 月 _____ 卒業見込 / 卒業

ふりがな
志願者氏名 _____

志願先高等学校名	高等学校	学科	科
1 志望する理由を書きなさい。			
2 高校入学後の抱負を書きなさい。			
3 高校を卒業後、どのような進路に進み、どのような社会人になりたいのかを書きなさい。			

- 1 ※以外は、志願者本人が直筆で記入すること。
- 2 黒のボールペンを用いて記入すること。（「消えるボールペン」は使用しないこと。）
- 3 誤記を訂正する場合は、二重線で消して訂正すること。

受験上の配慮申請書

〇〇高等学校長 殿

令和 年 月 日

〇〇中学校長 氏 名 印

下記のとおり、学力検査・面接等の受験上の配慮をお願いします。

記

氏 名		性別	男・女	生年月日	昭和 平成	年 月 日生
志望学科等	課程		科 (コース)	受験番号	※	
在学(出身) 中学校		卒業見込 (卒業)の年月		昭和 平成 令和	年 月	卒業見込 卒業
配慮の内容	海外帰国者等 身体上のこと等 () その他 ()					
配慮の希望事項	施設面					
	検査方法					
	その他					
配慮が必要な理由						

- <注> 1 「受験番号」の欄については、記入しないこと。
 2 「配慮の内容」の欄については、該当する項目を で囲み、() 内には、その具体的な内容を記入すること。
 3 配慮の希望事項の記入について
 (1) 施設面については、検査会場における検査室、座席等の希望を記入すること。
 (2) 検査方法については、拡大文字での検査、英語の放送による検査における直接検査、検査時間の延長等の希望を記入すること。
 (3) その他については、特別な器具の持込や薬の服用など、上記(1)、(2)以外の配慮を希望する場合に記入すること。
 (4) 「配慮の希望事項」の欄は、受験上の配慮に関する記入欄であり、選抜に関する配慮等については、記入しないこと。
 4 中学校長は、配慮申請の妥当性を示す資料（診断書、中学校での生活の様子や配慮した内容等を記載した副申書など）を添付して、志願高等学校長に提出すること。

受験上の配慮通知

令和 年 月 日

〇〇中学校長 殿

〇〇高等学校長 氏 名 印

令和 年 月 日付けで申請のあったこのことについては、下記のとおりです。

記

志 願 者 氏 名		受 験 番 号	
志 望 学 科 (コ ー ス)			
配 慮 事 項 に つ い て			

追 試 験 申 請 書

令和 年 月 日

_____ 高等学校長 殿

_____ 中学校

校長 _____ 印

第一次募集を欠席した下記の者について、追試験の受験を申請します。

記

受験番号		受験者氏名	
欠席した 検査	1 学力検査 2 面接・実技・作文 (該当するものに○を付けてください)		
事 由	イ インフルエンザ等の感染症などへの罹患又はその症状 ロ その他やむを得ない事由 (該当するものに○を付けてください)		
	具体的事由		

※ 事由イの場合、診断書等を添付すること。

※ 事由ロの場合、中学校長が欠席の事由を具体的に記載すること。

追 試 験 受 験 許 可 証

令和 年 月 日

_____ 中学校長 殿

_____ 高等学校長 印

令和 年 月 日付で申請のありました追試験については、下記のとおり受験を許可します。

記

受験番号		受験者氏名	
実施する検査 及び日時	1	学力検査	3月13日
	2	面接・実技・作文	学力検査終了後
			月 日 時 分集合

※学力検査の日程は、受験票の裏面を参照のこと。

※○が付いている項目が対象となります。

【注】追試験当日は、受験票と追試験受験許可証の写しを受付で提示してください。

令和5年度宮城県公立高等学校入学者選抜 写真票

全定の別	学科・コース名	受験番号	※
全・定	() 科 コース) 部	氏名	
在学(出身) 中学校	中学校		

写真欄
 ・上半身正面、無帽
 ・最近3ヶ月以内に撮影したもの
 ・縦4cm、横3cm
 ・カラー・白黒を問いません。
 ・写真の裏に氏名と中学校名を記入し、貼付すること。

(切り離さないで提出のこと。)

県外からの出願者、全国募集選抜の出願者、海外帰国者等の出願者、過年度卒業生の出願者、岩手・福島との県境隣接協定に基づく出願者、特別支援学級からの出願者、社会人特別選抜の出願者及び東日本大震災の被災に伴う区域外就学者の受験に係る措置による出願者については、右の○の中に、それぞれ県外、全国、海外、過卒、県境、特支、社会人及び区域外と朱書する。

受験番号 ※

入学者選抜手数料

県立高等学校出願者は宮城県収入証紙をここに貼付する(消印、割印しないこと。)
 仙台市立高等学校出願者は納入通知書兼領収書を願書裏面に貼付すること。
 石巻市立高等学校出願者は納入通知書兼領収証書を願書裏面に貼付すること。

入学願書

高等学校長殿 令和5年 月 日
 ()
 本人氏名 (昭和平成 年 月 日生)
 (本人署名又は記名押印)
 保護者(又は保証人)氏名
 (本人署名又は記名押印)

貴校(全日制・定時制)課程()科()コース)に入学を志願いたします。

本人	現住所	〒()
	在学(出身) 中学校	昭和 年 月 卒業見込・卒業 平成 令和 電話番号(県外の場合のみ記入) ()
保護者 (又は保証人)	現住所	〒() 電話番号 ()

第2志望	科	コース部
------	---	------

(切り離さないで提出のこと。)

割印

令和5年度宮城県公立高等学校入学者選抜 受験票

全定の別	学科・コース名	受験番号	※	氏名
全・定	() 科 コース) 部			
在学(出身) 中学校	中学校	生年月日	昭和 年 月 日生 平成	
出願校名及び 受験場所	※ 高等学校			

(※の欄は記入しないこと。)

記入上の注意

- 1 入学願書は、本人及び保護者(保証人)が記入すること。
ただし、本人が18歳以上の場合は保護者(保証人)の記入は不要であるが、その場合であっても本人の電話番号を保護者の電話番号欄に記入すること。
- 2 分校に出願する者は、分校名を分校名欄に〇〇校と記入すること。

- 3 入学願書は、黒のボールペンを用いて記入すること。「消えるボールペン」は使用しないこと。
- 4 氏名については、住民票どおりに記載すること。
- 5 生年月日については、「昭和・平成」のどちらかを○で囲むこと。
- 6 保護者欄には、生徒に対して親権を行う者を、親権を行う者がいないときは後見人を記入すること。
- 7 志望課程については、全日制・定時制のどちらかを、で囲むこと。
- 8 「()科()」のところは、出願する学科、コース・部名を記入すること。ただし、出願する学校に二つ以上の小学科が置かれている場合、例えば、工業に関する学科における機械科、電気科等のような場合には、その小学科名を記入すること。一括募集を実施する学科については、「農業・園芸」のように記入すること。記入しない場合は斜線(左上から右下)を引くこと。

(例) 「()科()」

- 9 在学(出身)中学校欄の「昭和・平成・令和」及び「卒業見込・卒業」については、それぞれどちらかを で囲むこと。

なお、中等教育学校前期課程においては「修了見込・修了」を「卒業見込・卒業」として扱うこと。

- 10 第2志望欄には、志望する学科、コース・部名を記入すること。ただし、第2志望とすることを認める学科・コース・部を志望する場合に限る。記入しない場合は、斜線(左上から右下)を引くこと。

(例)

第2志望	科	コース 部
------	---	----------

- 11 県立高等学校出願者にあつては、宮城県収入証紙(全日制課程2,200円、定時制課程950円)を、所定の欄に貼付すること(消印、割印しないこと。)

市立高等学校出願者にあつては、それぞれの市条例で定める額の手数料(全日制課程2,200円、定時制課程950円)を金融機関に納入し、仙台市立高等学校出願者にあつては納入通知書兼領収書を、石巻市立高等学校出願者にあつては納入通知書兼領収証書を、願書裏面に貼付すること。

- ◎ 第一次募集出願受付期間は2月14日(火)から2月17日(金)までとする。
受付時間は、午前9時から午後4時までとし、締切日の2月17日(金)は午前11時までとする(郵送する場合であっても、2月17日(金)午前11時までに必着のこと。)

- ・検査期日 令和5年3月6日(月)
- ・集合時刻 午前8時30分
- ・学力検査の日程

8:30	9:05	9:55	10:15	11:05	11:25	12:15	13:00	13:50	14:10	15:00
受付確認 諸注意	[1] 国語		[2] 数学		[3] 社会	昼食 休憩	[4] 英語		[5] 理科	

- ・当日持参するもの
受験票、鉛筆(シャープペンシルも可)、消しゴム、鉛筆削り、一組の三角定規、コンパス、昼食、上ばき、腕時計 ※直線定規の使用も認める。
- ・学力検査を受ける際、分度器(分度器機能付きの定規を含む)の使用や計算、翻訳、辞書、通信等の機能を有する機器類(スマートフォン・スマートウォッチ等を含む)の使用は認めない。その他、アラーム音を発するなど検査の公正を欠くおそれのある物も同様とする。

仙台市立高等学校に出願する場合は納入通知書兼領収書を、石巻市立高等学校に出願する場合は納入通知書兼領収証書を、上下のミシンの間に貼付すること。

令和5年度宮城県公立高等学校入学者選抜 写真票

全定の別	学科名	受験番号	※
全	科	氏名	
在学中学校	中学校		

写真欄
 ・上半身正面、無帽
 ・最近3ヶ月以内に撮影したもの
 ・縦4cm、横3cm
 ・カラー・白黒を問いません。
 ・写真の裏に氏名と中学校校名を記入し、貼付すること。

(切り離さないで提出のこと。)

海外帰国者等の出願者、特別支援学級からの出願者及び東日本大震災の被災に伴う区域外就学者の受験に係る措置による出願者については、右の〇の中に、それぞれ海外、特支及び区域外と朱書する。

受験番号	※
------	---

入学者選抜手数料	宮城県収入証紙をここに貼付する(消印、割印しないこと。)
----------	------------------------------

入学願書(連携型選抜)

令和5年 月 日

高等学校長殿

ふ り が な
 本人氏名
 (本人署名又は記名押印)

(平成 年 月 日生)

ふ り が な
 保護者(又は保証人)氏名
 (本人署名又は記名押印)

貴校全日制課程()科に入学を志願いたします。

本人	現住所	〒()
	在学中中学校	令和5年 月 卒業見込
保護者(又は保証人)	現住所	〒()
		電話番号() —

(切り離さないで提出のこと。)

割印

令和5年度宮城県公立高等学校入学者選抜 連携型選抜受験票

全定の別	学科名	受験番号	※	氏名
全	科			
在学中中学校	中学校	生年月日	平成 年 月 日生	
出願校名及び受験場所	高等学校			

(※の欄は記入しないこと。)

記入上の注意

- 1 入学願書(連携型選抜)は、本人及び保護者(保証人)が記入すること。
 - 2 氏名については、住民票どおりに記載すること。
-
- 3 入学願書は、黒のボールペンを用いて記入すること。「消えるボールペン」は使用しないこと。
 - 4 保護者欄には、生徒に対して親権を行う者を、親権を行う者がいないときは後見人を記入すること。
 - 5 「()科」のところは、出願する学科名を記入すること。
 - 6 宮城県収入証紙(全日制課程2,200円)を、所定の欄に貼付すること(消印、割印しないこと)。
- ◎ 出願受付期間は2月14日(火)から2月17日(金)までとする。
受付時間は、午前9時から午後4時までとし、締切日の2月17日(金)は午前11時までとする(郵送する場合であっても、2月17日(金)午前11時までに必着のこと)。

・検査期日 令和5年3月6日(月) ・集合時刻 午前8時30分
・学力検査の日程

8:30	9:05	9:55	10:15	11:05	11:25	12:15	13:00	13:50	14:10	15:00
受付確認 諸注意	[1] 国語		[2] 数学		[3] 社会	昼食 休憩	[4] 英語		[5] 理科	

- ・当日持参するもの
受験票、鉛筆(シャープペンシルも可)、消しゴム、鉛筆削り、一組の三角定規、コンパス、昼食、上ばき、腕時計 ※直線定規の使用も認める。
- ・学力検査を受ける際、分度器(分度器機能付きの定規を含む)の使用や計算、翻訳、辞書、通信等の機能を有する機器類(スマートフォン・スマートウォッチ等を含む)の使用は認めない。その他、アラーム音を発するなど検査の公正を欠くおそれのある物も同様とする。

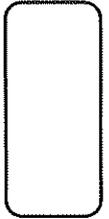
(様式B)

(令和5年度入学者選抜用)

調査書

調査書等作成委員会	
記載責任者印	

受験番号	※No.
------	------



氏名		性別	
生年月日	平成 年 月 日生		
卒業年月	令和 年 月	卒業見込	

記載内容に誤りがないことを証明します。

令和 年 月 日

学 校 名

校 長 氏 名

印

1 各教科の学習の記録					
教科	学年	1	2	3	※
	国語				
社会					
数学					
理科					
外国語					
音楽					
美術					
保健体育					
技術・家庭					

4 特別活動等の記録	
(1) 学級活動 (2) 生徒会活動 (3) 学校行事 (4) その他	

2 総合的な学習の時間の記録	

5 スポーツ活動, 文化活動, 社会活動, ボランティア活動等の記録	

3 行動の記録	
基本的な生活習慣	思いやり・協力
健康・体力の向上	生命尊重・自然愛護
自主・自律	勤労・奉仕
責任感	公正・公平
創意工夫	公共心・公德心

6 欠席の状況			
学年	事項	欠席日数	事由
1			
2			
3			

7 特記事項	

※No.

調査書作成上の留意事項

中学校長は、正確公正を期して調査書を作成するため、校内に調査書等作成委員会を設置すること。

調査書の作成に当たっては、所定の生徒指導要録等に基づいて、生徒に関する客観的な資料となるよう十分留意すること。

※ 令和5年度の入学者選抜においては、文部科学省「新型コロナウイルス感染症の影響等を踏まえた令和5年度以降の高等学校入学者選抜等における配慮等について（4文科初第684号 令和4年6月14日）」に基づき、対応するものとする。

I 記入上の全般的注意

- 1 調査書の作成に当たっては、宮城県教育庁高校教育課のホームページに掲載されている様式又はソフトウェア等で自作した様式を用いる。また、手書きの場合は、黒のペンを用いる。ただし、鉛筆書きした原本を複写してもよい。
- 2 令和5年3月卒業見込みの者の調査書には、令和5年1月31日までの事項を記入する。
なお、調査書の発行日は、令和5年2月1日以降（2月1日を含む）の日付とすること。
- 3 数字は、すべて算用数字を用いる。
- 4 誤記を訂正する場合は、消しゴム、ナイフ、修正テープ等を用いず、記載責任者が訂正箇所を二重線で消し、訂正印を押して訂正する。
- 5 ※No. の欄は記入しない。
- 6 卒業年月欄の右隣の欄については、「卒業見込」、「卒業」のいずれか一方を記入する。中等教育学校前期課程においては「修了見込」、「修了」のいずれか一方を記入する。
- 7 調査書等作成委員会の欄には、記載責任者の認印を押す。
- 8 作成した調査書は、必ず印刷をした上で生徒指導要録等の原本と相違ないかを複数の担当者で照合、確認すること。

II 各欄記入上の注意

- 1 「各教科の学習の記録」の欄について
1年から3年までの評定を生徒指導要録等に基づき5段階で記入する。
※の縦の欄は記入しない。
- 2 「総合的な学習の時間の記録」の欄について
学習活動及び学習評価の観点の中で顕著な事項や成長の様子を生徒指導要録等に基づき総合的に記入する。
- 3 「行動の記録」の欄について
第3学年について記入する。各項目ごとにその趣旨に照らして「十分満足できる状況であると判断される場合」に、○印を記入する。
- 4 「特別活動等の記録」の欄について
特別活動等における生徒の活動状況について、該当する事項を適宜番号で示し、事実及び

所見を記入する。

5 「スポーツ活動，文化活動，社会活動，ボランティア活動等の記録」の欄について

上記各分野のいずれかにおいて，次の（１）～（４）に該当する場合は，その内容を具体的に記述する。該当しない場合には斜線を引くこと。

（１）スポーツ活動

校内外の活動において，特に優れた体育的能力を有する者（これまでの中学校体育連盟等の運動競技会において，県大会以上の大会で優秀な成績をおさめる等）

（２）文化活動

校内外の活動において，特に優れた文化的能力を有する者（これまでの芸術作品展示会や発表会等の文化的活動において，県大会以上の大会で優秀な成績をおさめる等）

（３）社会活動

中学校の特別活動などにおいて，継続的に活躍するなど，特に優れたリーダー性を有する者

（４）ボランティア活動

校内外において１年以上の長期間にわたり奉仕的活動に携わり，その活動が特に顕著であると認められる者

6 「欠席の状況」の欄について

事由の欄には，各学年において欠席日数が７日以上の場合には主な理由等を記入する。

7 「特記事項」の欄について

この欄には，次の項目で特記すべきことがあれば，該当する事項を番号で示し，生徒指導要録等に基づき記入する。

（１）就学中の転・編入学に関すること

（２）各教科の学習状況に関すること

（３）行動の記録に関すること

（４）健康状態に関すること

（５）進路に関すること

（６）その他

8 県外からの出願者，全国募集選抜の出願者，海外帰国者等の出願者，過年度卒業生の出願者，岩手・福島の県境隣接協定に基づく出願者，特別支援学級からの出願者，社会人特別選抜の出願者，連携型選抜出願者及び東日本大震災の被災に伴う区域外就学者の受験に係る措置による出願者については，右上の□の中に，それぞれ県外，全国，海外，過卒，県境，特支，社会人，連携及び区域外と朱書する。例えば，県外からの過年度卒業生が出願する場合は，県外・過卒と朱書する。

Ⅲ その他

1 記載内容等について特別な事情がある場合は，副申書を添付することができる。

2 平成29年3月末日までに中学校を卒業した者については，生徒指導要録の「学籍に関する記録」に相当する内容のみ記入する。ただし，記入しない欄は斜線を引くこと。

なお，卒業証明書をもって調査書に代えることもできる。

県境隣接地域県立高等学校入学志願取扱いについて

I 県境隣接地域県立高等学校入学志願取扱協定

(I) 宮城県と岩手県との協定

宮城県教育委員会と岩手県教育委員会とは、県境隣接地域に住所を有する者の県外県立高等学校への入学志願の取扱いについて次のとおり協定する。

- 1 県外からの県立高等学校への入学志願は、別表の左欄に掲げる市町村に住所を有する者に限り、当該右欄に掲げる県外県立高等学校についてのみ認めるものとする。
- 2 前項の県外県立高等学校への入学志願は、一校に限り認めるものとし、かつ、県内及び県外の公立高等学校への併願は、認めないものとする。
- 3 前項の併願を防止するため、次の措置を講ずるものとする。
 - (1) 県外県立高等学校への入学願書に、在学又は出身中学校の長の発行する県内公立高等学校との併願がない旨を証する書面を添付させること。
 - (2) 県外からの入学願書を受理した県立高等学校の長に対しては、当該入学志願者がその居住する県において入学志願できる公立高等学校の入学志願者名簿を閲覧できるようにすること。
- 4 県外からの入学志願者には、志願先県立高等学校を所管する県教育委員会が行う学力検査を受けさせるものとする。
- 5 県外からの入学志願者を、志願先県立高等学校の学区の入学志願者と同一に取扱い、いかなる差別的取扱いもしないものとする。
- 6 この協定に定めがない事項又は疑義が生じたときは、その都度両者が協議して定めるものとする。
- 7 この協定は、両者協議の上、改正することができる。この場合において、改正後の協定を次年度の入学志願から適用しようとするときは、その前年度の9月末日までに協議を整えるものとする。
- 8 この協定は、平成16年1月1日より施行し、平成16年度に入学しようとする者から適用する。
- 9 宮城県と岩手県の県境隣接地域県立高等学校入学志願取扱協定（平成13年12月28日締結）は、廃止する。

平成15年12月22日

宮 城 県 教 育 委 員 会
岩 手 県 教 育 委 員 会

別表

宮城県側

岩手県側

市 町 村	志願できる県立高等学校	市 町 村	志願できる県立高等学校
栗原市（平成17年3月31日における旧栗駒町，旧金成町，旧若柳町の区域に限る。）	一関第一高等学校 一関第二高等学校 一関工業高等学校 花泉高等学校	一関市（平成17年9月19日における一関市，西磐井郡花泉町の区域に限る。）	岩ヶ崎高等学校 迫桜高等学校 佐沼高等学校 登米総合産業高等学校
登米市（平成17年3月31日における旧石越町，旧中田町，旧東和町の区域に限る。）	一関第一高等学校 一関第二高等学校 一関工業高等学校 花泉高等学校	一関市（平成17年9月19日における東磐井郡室根村および平成23年9月25日における東磐井郡藤沢町の区域に限る。）	気仙沼高等学校 本吉響高等学校 佐沼高等学校 登米総合産業高等学校 気仙沼向洋高等学校
気仙沼市	千厩高等学校（ 普願を除く) 高田高等学校 大船渡東高等学校	大船渡市 陸前高田市	気仙沼高等学校 本吉響高等学校 気仙沼向洋高等学校

(II) 宮城県と福島県との協定

宮城県教育委員会と福島県教育委員会とは、県境隣接地域に住所を有する者の県外県立高等学校への入学志願の取扱いについて次のとおり協定する。

- 1 県外からの県立高等学校への入学志願は、別表の左欄に掲げる市町村に住所を有する者に限り、当該右欄に掲げる県外県立高等学校についてのみ認めるものとする。
- 2 前項の県外県立高等学校への入学志願は、一校に限り認めるものとし、かつ、県内及び県外の公立高等学校への併願は、認めないものとする。
- 3 前項の併願を防止するため、次の措置を講ずるものとする。
 - (1) 県外県立高等学校への入学願書に、在学又は出身中学校の長の発行する県内公立高等学校との併願がない旨を証する書面を添付させること。
 - (2) 県外からの入学願書を受理した県立高等学校の長に対しては、当該入学志願者がその居住する県において入学志願できる公立高等学校の入学志願者名簿を閲覧できるようにすること。
- 4 県外からの入学志願者には、志願先県立高等学校を所管する県教育委員会が行う学力検査を受けさせるものとする。
- 5 県外からの入学志願者を、志願先県立高等学校の学区の入学志願者と同一に取扱い、いかなる差別的取扱いもしないものとする。
- 6 この協定に定めがない事項又は疑義が生じたときは、その都度両者が協議して定めるものとする。
- 7 この協定は、両者協議の上、改正することができる。この場合において、改正後の協定を次年度の入学志願から適用しようとするときは、その前年度の9月末日までに協議を整えるものとする。
- 8 この協定は、平成13年1月1日より施行し、平成13年度に入学しようとする者から適用する。
- 9 宮城県と福島県の県境隣接地域公立高等学校入学志願取扱協定（昭和52年10月11日締結）は、廃止する。

平成12年12月18日

宮 城 県 教 育 委 員 会
福 島 県 教 育 委 員 会

別表

宮城県側

福島県側

市 町 村	志願できる県立高等学校	市 町 村	志願できる県立高等学校
白石市	梁川高等学校	伊達郡国見町 〃 桑折町 伊達市梁川町 (平成17年12月31日現在の旧伊達郡梁川町の区域に限る)	白石高等学校 白石工業高等学校 伊具高等学校
伊具郡丸森町	梁川高等学校 相馬高等学校 相馬総合高等学校	相馬郡新地町 相馬市	伊具高等学校 亘理高等学校
亘理郡山元町	相馬高等学校 相馬総合高等学校		

(注) 別表については、令和5年4月より、以下のようになる。

「梁川高等学校」は、「保原高等学校」との統合により「伊達高等学校」となる。

II 宮城県刈田郡七ヶ宿町に住所を有する者が山形県の公立高等学校へ志願する場合

宮城県刈田郡七ヶ宿町に住所を有し、通学の便が悪いため本県の公立高等学校へ志願できない者は、山形県の最寄りの特定の高等学校（上山明新館高等学校、高島高等学校）へ志願することができる。

県立高等学校の通学区域に関する規則(抄)
(昭和31年12月28日宮城県教育委員会規則第17号)
最終改正 平成29年3月教育委員会規則第11号

(趣旨)

第一条 県立高等学校（以下「高等学校」という。）の通学区域については、この規則の定めるところによる。

(通学区域)

第二条 高等学校の通学区域は、宮城県の全地域とする。

(他都道府県に住所を有する者の取扱い)

第三条 他の都道府県に住所を有する者が宮城県の高齢学校に就学しようとするときは、別に定める場合を除き、宮城県教育委員会の承認を得なければならない。

2 前項の規定により承認を得ようとする者は、次の各号に掲げる事項を記載した申請書に、その者の在学する若しくは卒業した中学校（義務教育学校を含む。以下同じ。）又はその者の在学する若しくは前期課程を修了した中等教育学校の校長の証明を付し、第四号に掲げる理由を証明するに足る書類を添付して提出しなければならない。

一 現住所、氏名及び生年月日

二 在学する中学校若しくは中等教育学校の名称及び卒業見込み若しくは前期課程の修了見込みの年月又は卒業した中学校若しくは前期課程を修了した中等教育学校の名称及び卒業若しくは前期課程の修了の年月

三 保護者の現住所及び氏名

四 高等学校への就学を必要とする理由

附 則

この規則は、平成29年3月31日から施行する。

仙台市立高等学校の通学区域に関する規則(抄)
(平成12年3月23日仙台市教育委員会規則第4号)
改正 平成29年2月23日教育委員会規則第2号

(趣旨)

第一条 この規則は、仙台市立高等学校（以下「市立高校」という。）の通学区域に関し必要な事項を定めるものとする。

(通学区域)

第二条 市立高校の通学区域は、宮城県の全地域とする。

(他都道府県からの就学)

第三条 他の都道府県に住所を有する者がやむを得ない理由により市立高校に就学しようとするときは、当該市立高校の校長の承認を得なければならない。

2 前項の承認を得ようとする者は、次に掲げる事項を記載した申請書に、その者の在学する若しくは卒業した中学校（義務教育学校を含む。以下同じ。）又はその者が在学する若しくは前期課程を修了した中等教育学校の校長の証明を付し、第四号に掲げる事項を証明するに足る書類を添付して提出しなければならない。

一 現住所、氏名及び生年月日

二 在学する中学校若しくは中等教育学校の名称及び卒業見込み若しくは前期課程の修了見込みの年月又は卒業した中学校若しくは前期課程を修了した中等教育学校の名称及び卒業年月若しくは前期課程の修了年月

三 保護者の現住所及び氏名

四 市立高校への就学を必要とする理由

附 則

(施行期日)

この規則は、平成29年4月1日から施行する。

石巻市立高等学校の通学区域に関する規則(抄)
(平成17年4月1日石巻市教育委員会規則第15号)
最終改正 平成29年3月29日教育委員会規則第3号

(趣旨)

第1条 この規則は、石巻市立高等学校の通学区域に関し必要な事項を定めるものとする。

(通学区域)

第2条 石巻市立高等学校の通学区域は、宮城県の全地域とする。

(他都道府県からの通学)

第3条 他の都道府県に住所を有する者でやむを得ない理由により石巻市立高等学校への就学を希望する者は、教育委員会の承認を得て、石巻市立高等学校に通学することができる。

2 前項の承認を得ようとする者は、次に掲げる事項を記載した申請書に、当該者の在学する若しくは卒業した中学校(義務教育学校を含む。以下同じ。)又は当該者が在学する若しくは前期課程を修了した中等教育学校の校長の証明を付し、石巻市立高等学校への就学を必要とする理由を証明する書類を添付して提出しなければならない。

(1) 現住所、氏名及び生年月日

(2) 在学する中学校若しくは中等教育学校の名称及び卒業見込み若しくは前期課程の修了見込みの年月、又は卒業した中学校若しくは前期課程を修了した中等教育学校の名称及び卒業年月若しくは前期課程の修了年月

(3) 保護者の現住所及び氏名

(4) 石巻市立高等学校への就学を必要とする理由

(補則)

第4条 この規則の施行に関し必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

(施行期日)

この規則は、平成29年4月1日から施行する。

令和5年度宮城県公立高等学校入学者選抜における 東日本大震災の被災に伴う区域外就学者の受験に係る措置

宮城県教育委員会
仙台市教育委員会
石巻市教育委員会

令和5年度宮城県公立高等学校入学者選抜において、東日本大震災の被災により区域外就学している生徒が本県内の公立高等学校への入学を希望する場合には、令和5年度宮城県公立高等学校入学者選抜要項の居住区域の定めに関わらず、受験に係る措置として、次のように扱うものとする。

1 出願資格及び出願手続

(1) 出願資格

次のイの①及び②並びにロの①及び②のいずれかに該当し、本県内の公立高等学校への入学を希望する場合は、宮城県公立高等学校入学者選抜要項の「I 募集及び出願」の「3 出願制限」に関わらず、本県内の公立高等学校の入学者選抜（ただし、連携型選抜及び社会人特別選抜を除く。）に出願できるものとする。

ただし、いずれにおいても、本県内の公立高等学校に入学後、本人及び保護者が本県内に居住する場合とする。

イ 平成23年3月11日現在、県外に住所を有していた者のうち

- ① 被災に伴う避難のため、一家で本県内に居住し、本県内の中学校にやむを得ず区域外就学をしている者
- ② 被災に伴う避難のため、保護者の元を離れて本人のみが本県内に居住し、本県内の中学校にやむを得ず区域外就学をしている者

ロ 平成23年3月11日現在、本県内に住所を有していた者のうち

- ① 被災に伴う避難のため、一家で県外に居住し、県外の中学校にやむを得ず区域外就学をしている者
- ② 被災に伴う避難のため、保護者の元を離れて本人のみが県外に居住し、県外の中学校にやむを得ず区域外就学をしている者

(2) 出願手続

当該措置により出願する者は、宮城県公立高等学校入学者選抜要項に定める出願書類に加えて、宮城県公立高等学校出願承認願（東日本大震災の被災に伴う区域外就学者の受験に係る措置による出願者用）（様式K-3）を、現在在籍している中学校長を経て高等学校長に提出する。

この場合、高等学校長は、宮城県公立高等学校出願承認書（様式L）の交付を省略する。

2 出願書類作成上の注意

(1) 入学願書及び写真票

上記「1 出願資格及び出願手続」による出願の場合においては、右上の  の中に、**区域外**と朱書するものとする。

(2) 調査書（様式B）

上記「1 出願資格及び出願手続」による出願の場合においては、右上の  の中に、**区域外**と朱書するものとする。

(3) 出願者一覧表（様式C）

上記「1 出願資格及び出願手続」による出願の場合においては、備考欄に**区域外**と朱書するものとする。

3 被災に伴う転学者の取扱い

- (1) 平成23年3月11日現在、本県内に住所を有していた者で、被災に伴う避難のため、本県内から県外に住民票を移動した上で転居し転学した者は、当該措置の対象としない。

本県内の公立高等学校への入学を希望する場合は、宮城県公立高等学校入学者選抜要項に定める「Ⅶ 県外からの出願」（24頁）に基づき出願すること。

- (2) 平成23年3月11日現在、県外に住所を有していた者で、被災に伴う避難のため、県外から本県内に住民票を移動した上で転居し転学した者は、当該措置の対象としない。

本県内の公立高等学校への入学を希望する場合は、宮城県公立高等学校入学者選抜要項に定める通常の出願手続きに基づき出願すること。

宮城県公立高等学校出願承認願 (東日本大震災の被災に伴う区域外就学者の受験に係る措置による出願者用)				
令和 年 月 日				
〇〇高等学校長 殿	本人氏名 (本人署名又は記名押印)			
	保護者氏名 (本人署名又は記名押印)			
下記のとおり、貴校に入学したいので、出願を承認くださるよう、お願いします。				
記				
本人	現住所(避難先の住所)	〒()		
	住民票の住所			
	在学中学校	中学校 令和 年 月 卒業見込		
	氏 名			
	生 年 月 日	平成 年 月 日生	年齢	歳
保護者	現住所(避難先の住所)	〒() 電話番号() -		
	氏 名	続柄()		
	入学後の住所(予定)	〒()		
平成23年3月11日現在の住所(避難前の住所)		〒()		
理由				
学校所在地		〇〇中学校長	※	
電話番号() -		氏 名	印	
上記のとおり相違ないこと、及び貴県の公立高等学校以外の公立高等学校に出願しないことを証明します。				

- <注> 1 志願者本人又は保護者が理由の欄まで記入すること。理由は具体的に記入すること。
 2 中学校長は記載内容を確認の上、※の欄を作成すること。

宮城県公立高等学校出願書類送付先一覧

高等学校	郵便番号	住所	電話番号
宮城県白石高等学校	989-0247	白石市八幡町9-10	0224(25)3154
宮城県白石高等学校 七ヶ宿校			
宮城県蔵王高等学校	989-0851	刈田郡蔵王町大字曲竹字濁川添赤岩1-7	0224(33)2005
宮城県白石工業高等学校	989-0203	白石市郡山字鹿野43	0224(25)3240
宮城県村田高等学校	989-1305	柴田郡村田町大字村田字金谷1	0224(83)2275
宮城県大河原産業高等学校 (開設準備班)	989-1233	柴田郡大河原町字上川原7の2 (柴田農林高等学校内)	090(4753)0869
宮城県柴田農林高等学校 川崎校			0224(53)1049
宮城県柴田高等学校	989-1621	柴田郡柴田町大字本船迫字十八津入7-3	0224(56)3801
宮城県角田高等学校	981-1505	角田市角田字牛館1番地	0224(63)3001
宮城県伊具高等学校	981-2153	伊具郡丸森町字雁歌51	0224(72)2020
宮城県名取高等学校 ※	989-2474	岩沼市字朝日50	0223(22)3151
宮城県名取北高等学校	981-1224	名取市増田字柳田103番地	022(382)1261
宮城県亘理高等学校	989-2361	亘理郡亘理町字館南56の2	0223(34)1213
宮城県農業高等学校	981-1242	名取市高館吉田字吉合66番地	022(384)2511
宮城県仙台第一高等学校	984-8561	仙台市若林区元茶畑4番地	022(257)4501
宮城県仙台二華高等学校	984-0052	仙台市若林区連坊一丁目4番1号	022(296)8101
宮城県仙台三桜高等学校	982-0845	仙台市太白区門前町9番2号	022(248)0158
宮城県仙台向山高等学校	982-0832	仙台市太白区八木山緑町1番1号	022(262)4130
宮城県仙台南高等学校	982-0844	仙台市太白区根岸町14番1号	022(246)0131
宮城県仙台西高等学校	982-0806	仙台市太白区御堂平5番1号	022(244)6151
宮城県仙台東高等学校	984-0832	仙台市若林区下飯田字高野東70番地	022(289)4140
宮城県工業高等学校	980-0813	仙台市青葉区米ヶ袋三丁目2番1号	022(221)5656
仙台市立仙台工業高等学校 ※	983-8543	仙台市宮城野区東宮城野3番1号	022(237)5341
宮城県仙台第二高等学校	980-8631	仙台市青葉区川内澱橋通1番地	022(221)5626
宮城県仙台第三高等学校	983-0824	仙台市宮城野区鶴ヶ谷一丁目19番	022(251)1246
宮城県宮城第一高等学校	980-0871	仙台市青葉区八幡一丁目6番2号	022(227)3211
宮城県宮城広瀬高等学校	989-3126	仙台市青葉区落合四丁目4番1号	022(392)5512
宮城県泉高等学校	981-3132	仙台市泉区将監十丁目39番1号	022(372)4111
宮城県泉松陵高等学校	981-3109	仙台市泉区鶴が丘四丁目26-1	022(373)4125
宮城県泉館山高等学校	981-3211	仙台市泉区長命ヶ丘東1番地	022(378)0975
宮城県宮城野高等学校	983-0021	仙台市宮城野区田子二丁目36番1号	022(254)7211
仙台市立仙台高等学校	981-8502	仙台市青葉区国見6丁目52-1	022(271)4471
仙台市立仙台商業高等学校	981-3131	仙台市泉区七北田字古内75	022(218)3141
宮城県塩釜高等学校	985-0056	塩竈市泉ヶ岡10番1号	022(362)1011
宮城県多賀城高等学校	985-0831	多賀城市笠神二丁目17番1号	022(366)1225
宮城県松島高等学校	981-0215	宮城郡松島町高城字迎山3-5	022(354)3307
宮城県利府高等学校	981-0133	宮城郡利府町青葉台一丁目1番地の1	022(356)3111
宮城県黒川高等学校	981-3685	黒川郡大和町吉岡字東柴崎62	022(345)2171
宮城県富谷高等学校	981-3341	富谷市成田二丁目1-1	022(351)5111

高等学校	郵便番号	住所	電話番号
宮城県古川高等学校	989-6155	大崎市古川南町二丁目3番17号	0229(22)3034
宮城県古川黎明高等学校	989-6175	大崎市古川諏訪一丁目4番26号	0229(22)3148
宮城県岩出山高等学校	989-6437	大崎市岩出山字城山2番地	0229(72)1110
宮城県中新田高等学校	981-4294	加美郡加美町字一本柳南28	0229(63)3022
宮城県松山高等学校	987-1304	大崎市松山千石字松山1番地の1	0229(55)2313
宮城県加美農業高等学校	981-4111	加美郡色麻町黒沢字北條152	0229(65)3900
宮城県古川工業高等学校 ※	989-6171	大崎市古川北町四丁目7番1号	0229(22)3166
宮城県鹿島台商業高等学校	989-4104	大崎市鹿島台広長字空師前44	0229(56)2664
宮城県涌谷高等学校	987-0121	遠田郡涌谷町涌谷字八方谷三・1	0229(42)3331
宮城県小牛田農林高等学校	987-0004	遠田郡美里町牛飼字伊勢堂裏30	0229(32)3125
宮城県南郷高等学校	989-4204	遠田郡美里町大柳字天神原7番地	0229(58)1122
宮城県佐沼高等学校 ※	987-0511	登米市迫町佐沼字末広1	0220(22)2022
宮城県登米高等学校	987-0702	登米市登米町寺池桜小路3番地	0220(52)2670
宮城県登米総合産業高等学校	987-0602	登米市中田町上沼字北桜場223-1	0220(34)4666
宮城県築館高等学校	987-2203	栗原市築館字下宮野町浦22番地	0228(22)3126
宮城県岩ヶ崎高等学校	989-5351	栗原市栗駒中野愛宕下1番地3	0228(45)2266
宮城県迫桜高等学校	989-5502	栗原市若柳字川南戸ノ西184番地	0228(35)1818
宮城県一迫商業高等学校	987-2308	栗原市一迫真坂字町東133番地	0228(52)4112
宮城県石巻高等学校	986-0838	石巻市大手町3番15号	0225(93)8022
宮城県石巻好文館高等学校	986-0851	石巻市貞山三丁目4番1号	0225(22)9161
宮城県石巻西高等学校	981-0501	東松島市赤井字七反谷地27番地	0225(83)3311
宮城県石巻北高等学校	986-1111	石巻市鹿又字用水向126	0225(74)2211
宮城県石巻北高等学校 飯野川校			
宮城県水産高等学校	986-2113	石巻市宇田川町1番24号	0225(24)0404
宮城県石巻工業高等学校	986-0851	石巻市貞山五丁目1番1号	0225(22)6338
宮城県石巻商業高等学校	986-0031	石巻市南境字大樋20番地	0225(22)9188
石巻市立桜坂高等学校	986-0833	石巻市日和が丘二丁目11番8号	0225(22)4421
宮城県気仙沼高等学校 ※	988-0051	気仙沼市常楽130番地	0226(24)3400
宮城県志津川高等学校 (南三陸高等学校)	986-0775	本吉郡南三陸町志津川字廻館92番地2	0226(46)3643
宮城県本吉響高等学校	988-0341	気仙沼市本吉町津谷桜子2番地24	0226(42)2627
宮城県気仙沼向洋高等学校	988-0235	気仙沼市長磯牧通78番地	0226(27)2311
宮城県第二工業高等学校	980-0813	仙台市青葉区米ヶ袋三丁目2-1	022(221)5659
宮城県貞山高等学校	985-0841	多賀城市鶴ヶ谷一丁目10番2号	022(362)5331
宮城県田尻さくら高等学校	989-4308	大崎市田尻沼部字中新堀137番地	0229(39)1051
宮城県東松島高等学校	981-0503	東松島市矢本字上河戸16	0225(82)9211
仙台市立仙台大志高等学校	983-0842	仙台市宮城野区五輪1丁目4番10号	022(257)0986
宮城県美田園高等学校	981-1217	名取市美田園二丁目1番地の4	022(784)3572

※ 定時制課程を併置している高等学校

令和４年度 宮城県特別支援学校文化祭

～ わたしたちの青春ものがたり ～

文化祭テーマは、応募した中からいずみ高等支援学校３年生のアイデアが選ばれました。

【日時】 令和４年１１月７日（月）～１１月１１日（金）

午前９時から午後５時まで

【場所】 県庁１階 県民ロビー，玄関ホール

【内容】 ・学校紹介パネル展示〔２３校〕

・作業製品販売〔１０校〕

・ステージ発表〔５校〕

※期間中にまちくるビジョン（仙台市一番町商店街に設置してある大型ビジョン）

及びフォーラスビジョンで県内特別支援学校紹介を上映する予定です。

〈学校紹介パネル展示〉

✚ 県内全ての特別支援学校のパネルがずらり勢揃い！ 各校の特徴が一目で分かります。

〈作業製品販売〉

✚ 各学校で作った工芸製品、木工製品、野菜など、各校のアイデアが詰まった製品がたくさん販売されます。人気製品は売り切れ必至！ 御購入はお早めにどうぞ。

〈ステージ発表〉

✚ チアダンス、和太鼓演奏、よさこい演舞、フラダンス、高校生のアオハルがはじけます！

時間帯等 開催日等	学校紹介パネル	9:00～17:00 ※ステージ発表時は除く	
	販売（午前）	ステージ発表	販売（午後）
	10:00～12:00	12:00～13:00	13:00～15:00
11/7（月）	女川高等学園 小松島支援学校	いずみ高等支援学校 女川高等学園	いずみ高等支援学校
11/8（火）	聴覚支援学校 小牛田高等学園	小牛田高等学園	販売はありません
11/9（水）	光明支援学校 鶴谷特別支援学校	発表はありません	販売はありません
11/10（木）	宮教大附属特別支援学校 仙台みらい高等学園	仙台みらい高等学園	販売はありません
11/11（金）	岩沼高等学園	岩沼高等学園	販売はありません

※ 新型コロナウイルス感染状況により内容の変更等があった場合は、教育庁特別支援教育課ウェブページにてお知らせします。

（主催）宮城県教育委員会 （共催）仙台市教育委員会

2022年
10月1日(土)→11月27日(日)

資料配布(6)

開館時間 | 9:30~17:00(発券は16:30まで) 休館日 | 月曜日(10月10日は開館)、10月11日(火)

観覧料 | 大人 1,200円、シルバー 1,100円、小・中・高校生 500円

※当館は障害者割引を受ける際に、障害者手帳等に代えてミライロIDが利用できます。

ミライロIDとは：障害者手帳アプリです。あらかじめ障害者手帳等を登録しておき、ミライロIDが使える施設や窓口でアプリの画面を提示することで、スムーズに障害者割引料金の適用を受けられます。

主催 | 東北歴史博物館

共催 | NHK 仙台放送局 / 河北新報社

特別協力 | 瑞巖寺 / 鹽竈神社

後援 | 多賀城市 / 多賀城市教育委員会 / 多賀城市観光協会 / 多賀城・七ヶ浜商工会 /

TBC東北放送 / 仙台放送 / ミヤギテレビ / khb 東日本放送 / Data fm

朝日新聞仙台総局 / 毎日新聞仙台支局 / 読売新聞東北総局 /

産経新聞社東北総局 / 宮城ケーブルテレビ株式会社



東北歴史博物館

TOHOKU HISTORY MUSEUM

〒985-0862

宮城県多賀城市高崎1-22-1

Tel.022-368-0106

Email:thm-service@pref.miyagi.lg.jp

https://www.thm.pref.miyagi.jp/

●交通案内 | JR東北本線「国府多賀城駅」となり(仙台駅から14分) / 無料駐車場(191台・大型バス10台)



文化庁

令和4年度
地域ゆかりの文化資産を
活用した展覧会支援事業



あなたに夢を。宝くじ 街に元気を。

クマちゃん



MIYAGI
150th ANNIVERSARY

国重文「太刀 銘 助真」
南部家伝来 鎌倉時代
若手県立博物館蔵

「伊達政宗筆 梅に小椋図」
江戸時代初期 個人蔵

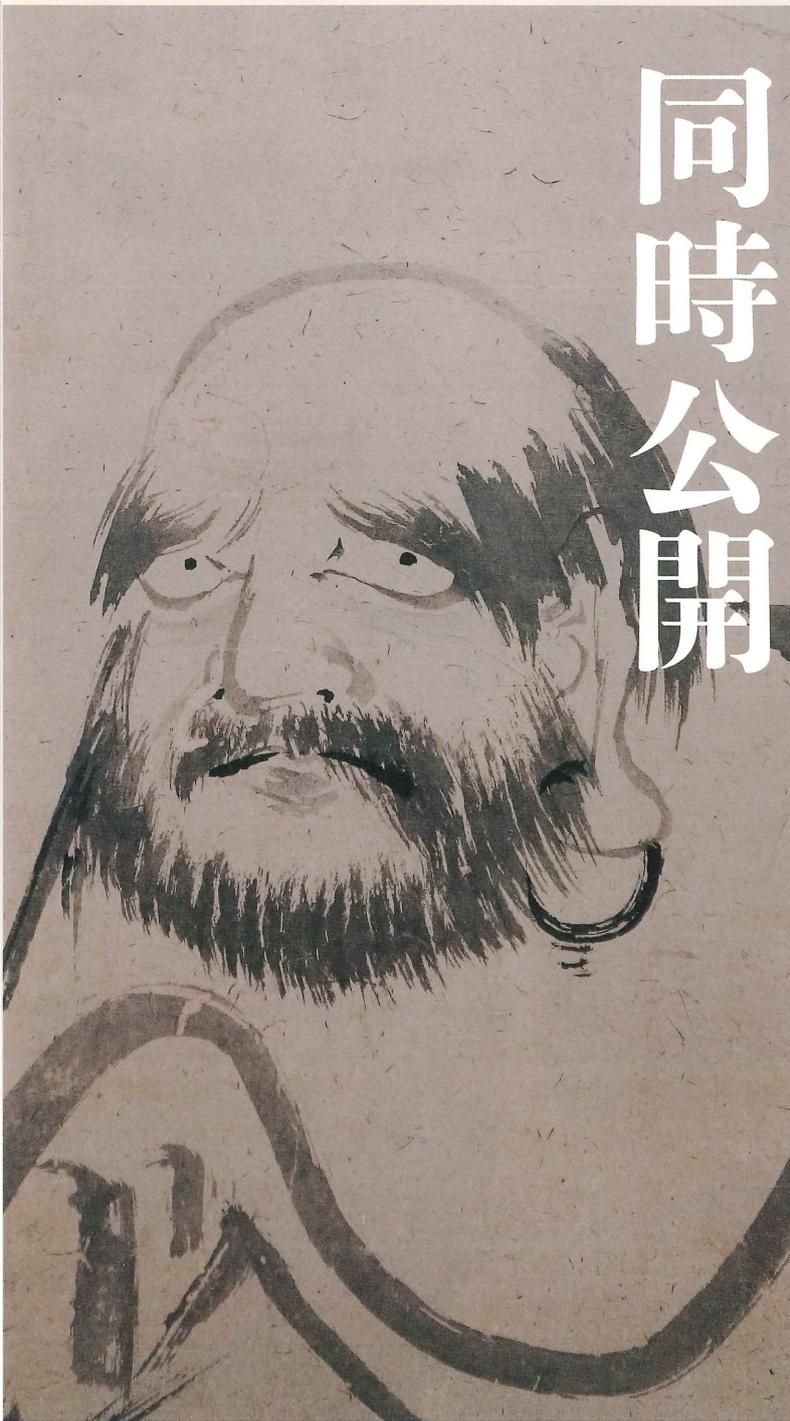
「伊達政宗筆 連磨図」(部分) 清岳宗拙賛 江戸時代初期 個人蔵

東北武士の系譜

みちのくのサムライたち

史上初 同時公開

伊達政宗の絵画



みちのくの東北武士の系譜

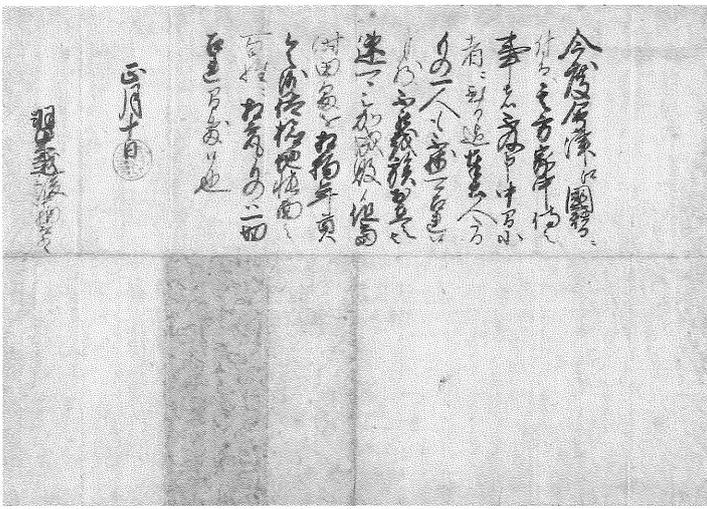
サムライたち



「銀装術衛太刀拵」
南部家伝来 江戸時代
岩手県立博物館

平安時代における武士の誕生から、中世東北武士の躍動、名実ともに政治・経済・文化の中心的存在として現在の東北にも大きな影響を与えた近世大名まで、東北における武士の歴史を追うことによって、日本史における武士という存在がいかなるものであったのか、現在の我々にどのような影響を与えたのかを改めて考えたいと思います。また、武士の主要な武器であり、武士の精神性を象徴するようになる日本刀について、特に武士の誕生・成長との関係という視点から、その変遷を追います。

平安時代における武士の誕生から、中世東北武士の躍動、名実ともに政治・経済・文化の中心的存在として現在の東北にも大きな影響を与えた近世大名まで、東北における武士の歴史を追うことによって、日本史における武士という存在がいかなるものであったのか、現在の我々にどのような影響を与えたのかを改めて考えたいと思います。また、武士の主要な武器であり、武士の精神性を象徴するようになる日本刀について、特に武士の誕生・成長との関係という視点から、その変遷を追います。



国宝「豊臣秀吉朱印状」 上杉家文書 慶長三(1598)年正月十日 米沢市上杉博物館



「旗[鬼]」 上杉家伝来 江戸時代 個人蔵
(写真提供:米沢市上杉博物館)



国宝「北条高時書状」 金沢文庫文書 五月二十一日 称名寺(神奈川県立金沢文庫管理)

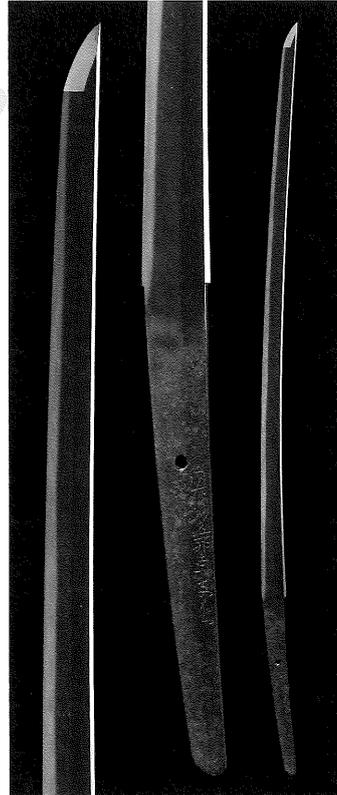
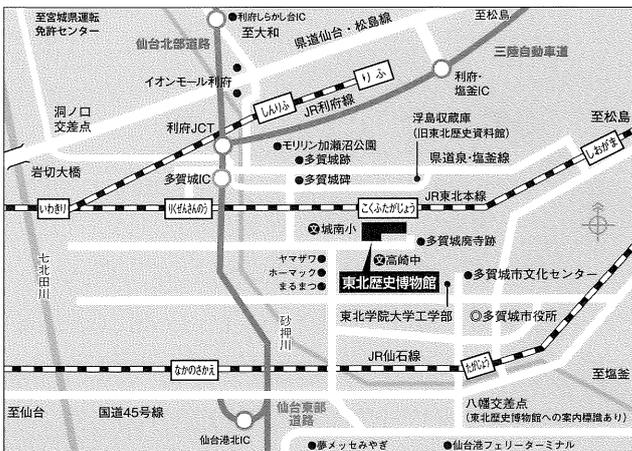
関連行事

◆外国人の方も参加できます！ 刀剣ワークショップ

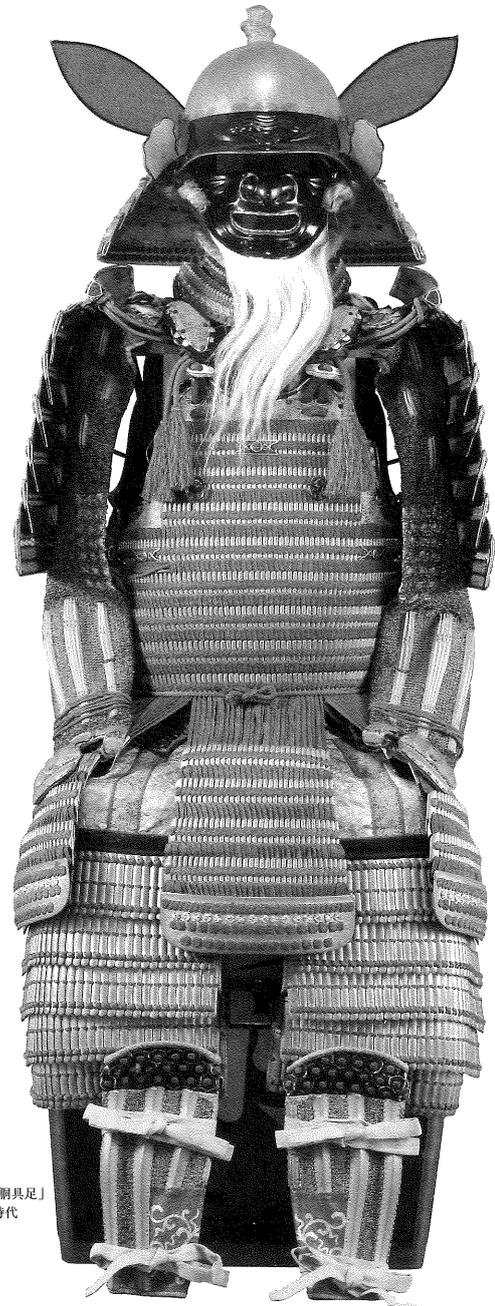
江戸時代の日本刀を間近で体感できます。
10月16日(日)・11月6日(日) 両日とも13:30~
於:研修室(※特別展観覧券が必要)
*小学4年生以上対象 各回定員20名(事前申込不要・先着順)

◆本展担当者が語り倒す！ 特別展示解説

毎週日曜日 10:30~11:00
於:研修室(※特別展観覧券が必要)
*各回定員50名程度(事前申込不要・先着順)



「太刀 銘 奥州舞草友長」 室町時代 岩手県立博物館



「銀小札紫糸威二枚胴具足」
南部利幹所用 江戸時代
岩手県立博物館



- JR東北本線/国府多賀城駅下車、徒歩1分
JR仙石線/多賀城駅下車、徒歩25分、
又はタクシー10分
- お車をご利用の場合
三陸自動車道/多賀城ICから約5分
※カーナビ検索は 022-368-0101

〒985-0862
宮城県多賀城市高崎1-22-1
Tel.022-368-0106
Email:thm-service@pref.miyagi.lg.jp
https://www.thm.pref.miyagi.jp/

